

平成28年度

# 広南中教育資料集

H28広南中総合的な学習の時間ポートフォリオ

## 未来を創る

温故挑新

故里を温め、  
新しきことに挑戦しよう



不かく尋ねたかく志す  
広く深く視野を広げ、  
不を覆す高き志を胸に

この資料集で紹介してある学習指導案・ワークシートは、広南中学校のHPからダウンロードできます。どうぞ御活用ください。



施設一体型小中一貫教育校 広南学園

呉市立広南中学校

呉市広長浜4丁目1-9 Tel(0823)71-7920 Fax(0823)74-3502

## 未来を創る君たちへ

どんな困難な状況に追い込まれても  
**希望を見付けることができる人**になりましょう。

そのためには、広く、そして深い**情報収集**をすることができる力が必要です。  
そして、世の中のためにやるべき価値のあることには  
たとえ不可能に思えても  
歩みを一歩すすめることのできる**挑戦心・探究心**が必要です。

どんな困難な問題に出会っても それを  
**解決していくことのできる力を持つ人**になりましょう。

そのためには、解決方法を見いだす**思考力**と、  
それを伝える**表現力**が必要です。  
そして、なにより、たとえ立場や考えがちがっている人とも、互いを尊重しあい、  
力を合わせて解決していこうとする**協働的な態度**を身に付けることこそ、  
あなたに大きな力を与えてくれるものであることを忘れないでください。

どんな困難な状況の中でも  
**感謝する心と、貢献する心**を忘れないでいましょう。

あなたは あなたにつながるこの地球の**未来を創る**ための  
あなたしかできない大切な**責任と使命**を与えられて  
この地球に生まれてきたのです。

### <未来を創る人となるために身に付けたい資質・能力>

資質・能力	評価規準
① <b>情報収集力</b>	問題解決に向けて課題を設定し、課題解決へ向けて必要な情報を収集することができる。
② <b>思考力・表現力</b>	情報を整理・分析し、導き出した自分の考えを工夫して表現することができる。
③ <b>挑戦心・探究心</b>	どんな問題にも前向きに粘り強く挑戦・探究しようとする意欲をもっている。
④ <b>協働的な態度</b>	自他を尊重し、コミュニケーションを図りながら協力して課題解決を図ろうとしている。
⑤ <b>感謝・貢献</b>	自分がまわりに生かされていることを自覚し、家族・地域・社会に感謝・貢献しようと考えている。
⑥ <b>責任感・使命感</b>	社会の一員として優れた伝統文化と精神を継承し、よりよい未来の担い手としての自覚と高い志を持っている。

## 目 次

1	はじめに 「挑戦問題を手がかりとして」	1
	本校の課題発見・解決学習の考え方	3
2	成果物Ⅰ	
	広南学園グランドデザイン（H28）	4
	広南学園で育てようとする資質・能力とルーブリック	5
	総合的な学習の時間の全体計画（H28）	6
	資質・能力の育成に係る年間指導計画（H28）	7
	教科における課題発見・解決学習の単元モデルづくり	10
	総合的な学習の時間における課題発見・解決学習の単元モデルづくり	11
	開発した単元・題材 before after	12
	小中一貫呉型カリキュラム（小・中を貫く探究活動）	14
	ICTの有効活用による授業改善	15
3	成果物Ⅱ（H27年度開発単元の紹介）	
	<b>教科</b>	
	(1) 国語「伝統文化を楽しもう 平家物語 那須与一」	17
	(2) 数学「比例と反比例」	18
	(3) 理科「火山活動と火成岩」	19
	(4) 音楽「日本の伝統音楽・楽器に親しもう」	20
	(5) 職業家庭 「地域の食材をつかったおいしい料理で家族をもてなそう」	21
	<b>総合的な学習の時間</b>	
	(1)「蚊がO研究 PROJECT」（1学年）	22
	(2)「魅力的な生き方さがし」（1学年）	23
	(3)「運命の仕事と出会うために」（2学年）	24
	(4)「FOR THE NEXT STEP」（3学年）	25
4	付録（H27年度の実践から）	
	(1)その他の教科の実践（社会・理科・音楽・英語）	26
	(2)総合的な学習の時間のその他の単元の実践	47

研究同人

# 1 はじめに

## 「挑戦問題を手がかりとして」

呉市立広南中学校  
校長 若本 正

困難な問題に直面する時に、人間が思わぬ力を発揮したり、想像以上の成長をみせる場面は、私たちの学校の行事の中でも見ることができる。

昨年度の小中合同運動会で、中学生全学年による団体種目「広南ソーラン」では「自分たちで踊りを教え合い、フォーメーションも自分たちで考えて披露する」という挑戦問題を与えた。実は、踊りは3年生しか習得させていなかった。しかも、うまいといえる生徒は数人しかいなかった。踊りをまったく知らない1・2年生に教え、フォーメーションも自分達で考える。困難だが、けれども、この種目は30点という大きな得点種目だった。

この挑戦問題のもと、全学年での体育科でのダンスの授業がはじまった。自分もきちんと踊れない中、最初、生徒たちはただ右往左往しながら、時間が流れていく。それでも、3年生たちは自分たちが教えるしかないという状況の中で、自主練習をはじめ、インターネットを使って調べたりしながら、問題解決へ向けて、踊りのコツをみつけ、自らの技量を高めながら後輩たちにも教えていく。みるみるうまくなって

いく相手チームの姿をみて、最初、やる気のなかったもう一方のチームも、火がついてがんばりはじめる。予行演習で負けたチームは、朝練習と放課後練習まで取り組み、本番では、逆転勝利を収めるなどして、多くの生徒がいままで感じたことのない達成感に涙をした。



小中一貫長縄跳び

最高のソーランを披露することができました



### 中学校最後の運動会

呉市立広南中3年

松岡 諒 記者



「未知への挑戦」がテーマのことしの運動会のソーランは、「踊りもすべて3年生が後輩に教え、フォーメーションも自分たちで考えなさい」というものでした。僕は赤組団長として、ほかの3年生と一生懸命に

命が後輩に踊りを教え、フォーメーションを考えました。教えるというのはとても難しく、考えたことをみんなにうまく伝えることができず、予行演習では白組に負けていました。悔しくて昼も放課後も、そして運動会当日の朝も集まって、最後までみんなで改良に取り組みました。本番では最高の演舞を披露することができました。「赤組の勝ち」。逆転勝利の間、まわりの女子が泣いて抱き合っていました。その時味わった達成感は、僕の一生の宝物です。

中Pこども新聞（平成27年7月号より転載）

1年生から9年生がいっしょに取り組む競技として、「小中一貫長縄跳び」という競技を挑戦問題として試行した。予想通り、1年生から9年生と一緒に跳ぶということにはきわめて困難だった。何度、練習しても0回が続いた。やがて、ペアを組んだり、手をつないだり、いろいろな試行錯誤がはじまった。

中学生が小学生をおんぶして跳ぶチ

ームが現れた。それはよい方法に思えた。やがていろいろな工夫と練習の成果でグループによっては十数回跳べるようになっていった。けれども、あるチームは本番前、おんぶをしようとした小学生が自分で跳びたいといったので、勝つことよりその小学生の意志を尊重するという選択をし、結果、負けた。力のあるものとなないものどうやって協働するのか、何が最善解なのか、見ている私たち大人も考えさせられた瞬間だった。

私たちは、このような経験から、困難な問題に直面させる中で、生徒の主体性はおのずと引き出され、その問題解決の過程で、それぞれの生徒の立場で「課題発見・解決学習」が協働的に行われていくものと考えている。そして、問題解決には 自己の成長とともに協働的な態度が必然的な要素として自覚できることにも意味があると考えている。

現学習指導要領解説にも『自ら課題を見付け』とは、そういう問題と向き合って自分で取り組むべき課題を見出すことである。この課題は、解決を目指して学習するためのものである。その意味で課題は、生徒が、解決の意欲を高めるとともに、解決への具体的な見通しがもてるものであり、そのことが主体的な課題の解決につながっていく。(中学校学習指導要領解説「総合的な学習の時間編 P14より」とある。

そこで、教科においても、総合的な学習の時間においても、単元を貫く「挑戦問題」の設定を行うことで、同様のことが期待できるのではないかと私たちは考え、このような仮説を設定することとした。

本校は、「学びの変革」パイロット校として、この仮説のもと、平成28年度にいろいろな学校に試行してもらえる「課題発見・解決学習」の単元モデルの開発を目標に取り組んできた。

教科においては、「挑戦問題」を活用し、「学びがい」をキーワードに単元開発をすすめてきた。また、総合的な学習の時間においてはイノベーション（新しい価値をつくり出す創造的な活動）の原体験をキーワードに単元開発をすすめてきた。

グローバル化・人口減少社会・少子高齢化社会への急速な移行など、閉塞感のある未来を切り開く新しい価値、イノベーションに寄与できる人材を育成する上で、「学びがい」こそが「生涯にわたって学びに向かう力」となり、中学生時代に「イノベーションの体験」をすることこそが、将来、「イノベーションを生み出す原体験」として人生に影響することになると私は考えている。

昨年度は、パイロット校として「できるだけ他校が追試しやすい」ものを意識して単元の指導案作成および試行を行った。その成果と課題をもとに、改善したものが、この冊子には載せてある。また、研究発表会を6月に行うことにしたのは、より早い情報発信をすることで、多くの学校の参考になればと考えたからである。試行してもらいやすいようにワークシートもできるだけ作成した。これらの資料は本校のHPで誰でもダウンロードしてもらえるように準備中である。また、指導案作成にいたらない段階の取組の一部も、あえて付録という形で添付した。

まだまだどの単元計画も不十分な点は多々あり、多くの方の追試により、よりよいものに改善していただければ幸いである。特に、本来、最初に設定すべき本校のめざす資質・能力および態度やルーブリックについては、先生方と論議を繰り返す中で、年度末にやっと形にすることができたもので、これらの活用と検証は、本校でも、これからの課題となっている。

最後に、この一年間、広島県教育委員会および呉市教育委員会、その他、関係諸機関からは多大な研修の機会と御指導・御助言をいただいたことに深謝するとともに、今後のさらなる御指導・御鞭撻をお願いして、はじめのことばとする。

## ＜本校の課題発見・解決学習の考え方＞

「課題」と「問題」の定義については、本校では、学習指導要領解説の下記の文脈から次のように整理している。

「自ら課題を見付け」とは、そういう問題と向き合って自分で取り組むべき課題を見出すことである。この課題は、解決を目指して学習するためのものである。その意味で課題は、生徒が、解決の意欲を高めるとともに、解決への具体的な見通しがもてるものであり、そのことが主体的な課題の解決につながっていく。

(中学校学習指導要領解説「総合的な学習の時間編 P14より)



挑戦問題	解決すべき問題と出逢わせるため教師から行う意図的な問題提起
課題発見	教師の問題提起を受けて児童・生徒が自ら見出す自分で取り組むべき課題 または、学習の結果、児童・生徒が自ら見出すさらなる取り組むべき課題
課題設定	課題解決へむけての見通しを示したもの
課題解決	課題解決により問題解決へむけてのすべ(知識・技能など)を得ること
問題解決	課題解決で得られたすべと協働的な営みの積み重ねにより挑戦問題の解決を図ること

**呉市立広南小学校**  
〒737-0136  
広島県呉市広長浜四丁目 1-26  
TEL0823(71)7965 FAX 0823(71)4112

**呉市立広南中学校**  
〒737-0136  
広島県呉市広長浜四丁目 1-9  
TEL0823(71)7920 FAX 0823(74)3502

【校章】  【校訓】 

**児童生徒実態**

- ・明るく素直
- ・異学年集団が仲良し
- ・学習理解の二極化
- ・個々の自立が確立していない

**保護者・地域実態**

- ・恵まれた自然環境
- ・新しい学校づくりに期待
- ・保護者同士がそれぞれ親密
- ・教育活動に協力的
- ・地域にいる豊かな人材

**学校教育目標**

## 自立に向かって主体的に生きる

**ミッション**  
大きな夢と志をもち、社会に貢献する人材を育成する

**ビジョン**

- 深い学びの精神と感謝の気持ち、社会貢献への気概をもつ児童生徒を育て、地域から信頼される学校
- 地域文化の拠点として地域の活性化に貢献する学校

**目指す児童生徒像**

～ 挑戦 自律 真摯 ～

- 夢を持ち、夢を語り、志を抱き、その実現に向けて挑戦する児童生徒
- 時を守り、場を清め、礼を正し、学びを求める児童生徒
- 自ら課題を見付け、その解決に向けて、常に努力し続ける児童生徒

**目指す教師像**

～ 「協働」 ～

- 広い知識と教養をもつ尊敬される教師
- 率先垂範と徹底指導により、協働・創造する児童生徒を育成する教師
- 義務教育9年間を見据え、常に自己研鑽に励む情熱ある教師

「広南学園で学んでよかったと思える日本一の学校づくり」  
～9年間を見通した「学び」と「ありがとう」の日本一を目指して～

H28 キーワード **未来を創る**

## 「教科学習」部会

H28 研究主題  
「知識・技能を活用し、協働して新しい価値を生み出せる資質・能力の育成」  
～「挑戦問題」を手がかりとした課題発見・解決学習の工夫を通して～

## 「生き方・ふるさと学習」部会



## 広南学園で育てようとする資質・能力

資質・能力	評価基準
①情報収集力	問題解決に向けて課題を設定し、課題解決へ向けて必要な情報を収集することができる。
②思考力・表現力	情報を整理・分析し、導き出した自分の考えを工夫して表現することができる。
③挑戦心・探究心	どんな問題にも前向きに粘り強く挑戦・探究しようとする意欲をもっている。
④協働的な態度	自他を尊重し、コミュニケーションを図りながら協力して課題解決を図ろうとしている。
⑤感謝・貢献	自分がまわりに生かされていることを自覚し、家族・地域・社会に感謝・貢献しようと考えている。
⑥責任感・使命感	社会の一員として優れた伝統文化と精神を継承し、よりよい未来の担い手としての自覚と高い志を持っている。

### 広南学園 資質・能力ルーブリック（基本）

資質・能力	評価	評価基準		
		前期（1～4年）	中期（5～7年）	後期（8～9年）
①情報収集力	A	相手に質問などもすることでより深く情報を収集することができる。	取材なども行うことでより深い情報を収集することができる。	目的に応じて適切な手段を選択し、より深い情報を収集することができる。
	B	読むことで情報収集することができる。	情報機器なども活用し、必要な情報を収集することができる。	目的に応じて適切な手段を選択し、必要な情報を収集することができる。
	C	聞くことで情報収集することができる。	本や資料から、情報収集することができる。	課題に関する情報収集をすることができる。
②思考力・表現力	A	学んでわかったことを、わかりやすく表現することができる。	情報を整理して、わかりやすくまとめ、工夫して表現できる。	情報を整理・分析し導き出した自分の考えを工夫して表現できる。
	B	学んでわかったことを伝えることができる。	情報を整理して、わかったことを表現することができる。	情報を整理・分析し、導き出した自分の考えを表現できる。
	C	聞いたことをそのまま伝えることができる。	情報を整理し、表現することができる。	情報を整理し、表現することができる。
③挑戦心・探究心	A	困難でもやる価値のあることには挑戦・探究しようとしている。		
	B	少しがんばればできそうなことには挑戦・探究しようとしている。		
	C	今の自分でもできそうなことには挑戦・探究しようとしている。		
④協働的な態度	A	立場や考えの異なる人ともつながることで課題を解決しようとしている。		
	B	考えの異なる人とも協力し、助け合うことで課題を解決しようとしている。		
	C	友達と話し合うことで課題を解決しようとしている。		
⑤感謝・貢献	A	家族・地域・社会に感謝・貢献しようとしている。		
	B	家族・地域・社会に感謝・貢献したいと思っている。		
	C	家族・地域・社会に支えられていることを自覚している。		
⑥責任感・使命感	A	自分の所属する集団の良さを受け継ぎ、よりよくしていこうとしている。		
	B	自分の所属する集団の良さを受け継ぎ、よりよくしていきたいと思っている。		
	C	自分の所属する集団の良さを理解している。		

※ Aのうち、特に優れている場合はSとする。Cに満たないものはDとする。

※ これをもとに実際の授業では、学習対象に応じて児童生徒にわかりやすいものに変えて使用する。特に

②思考・表現力については、発達段階・学習の対象に応じて、「特徴を見付ける、比較・関連づけ、視点を定めた分析、因果関係の分析・推測、多角的な分析、相手や目的、意図に応じた論理的な表現」等、より具体的なものに変えて使用する。

# 平成28年度総合的な学習の時間の全体計画

<p><b>生徒の実態</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小規模校であり、素直で学習や特別活動などに意欲的に取り組んでいる生徒が多い、礼節を大切にしようとする校風も育ってきた。</li> <li>● 読書の習慣や思考力、主体的に行動する態度が課題である。学力に課題のある生徒も少なくない。</li> </ul>	<p>&lt;学校教育目標&gt;</p> <p><b>自立に向かって主体的に生きる</b></p> <p>～大きな夢と志をもち、社会に貢献する人材を育成する～</p>	<p><b>保護者・地域の実態</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 厳しい家庭環境にある生徒が増加している。一方で、学校に協力的な人材は多い。</li> <li>・ 過疎化が進み、少子・高齢化が急激に進んでいる。</li> <li>・ 海と山の豊かな自然環境に囲まれている。</li> </ul>
<p>&lt;研究主題&gt;</p> <p><b>知識・技能を活用し、協働して新しい価値を生み出せる資質・能力の育成</b></p> <p>—挑戦問題を手がかりとした課題発見・解決学習の工夫を通して—</p>		

## 本校の総合的な学習の時間の目標

生き方について広く深く**視野を広げ**るとともに、故里を知り、つながり、貢献する生き方と方策を**協働的・創造的に探究**する活動を通して、課題解決の能力や資質を育成し、学び方や、ものの考え方を身に付け、**主体的な自分の生き方**を考えることができるようにする。

### 創造的な体験（イノベーションを生み出す原体験）

<p><b>知る</b></p> <p>新しい価値に出会い <b>希望</b>を見付ける</p> <p>挑戦心・探究心      情報収集力</p>	<p><b>つながる</b></p> <p>「人・もの・こと」とつながることで <b>力</b>を手に入れる</p> <p>協働的な態度      思考力・表現力</p>	<p><b>感謝・貢献</b></p> <p>創造・表現・実行して <b>感謝</b>を伝え<b>貢献</b>する</p> <p>感謝・貢献      責任感・使命感</p>
--------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------

育てようとする資質・能力及び態度	評価規準
知識・スキル	(1) 情報収集力 問題解決に向けて課題を設定し、課題解決に向けて必要な情報を収集することができる。
	(2) 思考力・表現力 情報を整理・分析し、導き出した自分の考えを工夫して表現することができる。
意欲・態度	(3) 挑戦心・探究心 どんな問題にも前向きに粘り強く挑戦・探究しようとする意欲をもっている。
	(4) 協働的な態度 自他を尊重し、コミュニケーションを図りながら協力して課題解決を図ろうとしている。
価値観・倫理観	(5) 感謝・貢献 自分がまわりに生かされていることを自覚し、家族・地域・社会に感謝・貢献しようと考えている。
	(6) 責任感・使命感 社会の一員として優れた伝統文化と精神を継承し、よりよい未来の担い手としての自覚と高い志を持っている。

単元	生き方学習	ふるさと学習		
目標	<p><b>不かく尋ね たかく志す</b></p> <p>広く深く視野を広げ、不を覆す高き志を胸に</p>	<p><b>温故挑新</b></p> <p>故里を温め、新しきに挑戦しよう &lt;地域との交流&gt;</p>		
中期	1 学年 (7 年生)	<p><b>魅力的な生き方さがし</b></p> <p>「運命の本ビブリオトーク」を通して、それぞれの先人の生き方の魅力を知るとともに、人間の生き方について広く深く視野を広げ、主体的な自分の生き方を模索する。</p>	<p><b>「落語に挑戦！」</b></p> <p>古典芸能（落語）の習得・活用を通して挑戦心と表現力を向上させるとともに、それを手がかりに、地域の方に楽しんでもらえる貢献体験を通して、自己効力感を高める。</p>	<p><b>解 PROJECT</b></p> <p>自分たちが学んだことを生かして小学校に貢献する。</p> <p>＜小学校との異学年交流＞</p>
	2 学年 (8 年生)	<p><b>運命の仕事に出会うために</b></p> <p>「運命の本ビブリオトーク」を通して起業家や、いろいろな職業で活躍する先人の生き方や考え方を知るとともに、広く深く職業的視野を広げ、主体的な自分の職業選択へ向けての考え方を模索する。</p>	<p><b>広南「起業」PROJECT</b></p> <p>職場体験と故里を題材にした起業体験を通して、挑戦心と地域に根差し貢献するための協働的・創造的な生き方を身に付ける。</p>	
後期	3 学年 (9 年生)	<p>I <b>「FOR THE NEXT STEP」</b></p> <p>&lt;高校との連携&gt; 様々な進路先について広く深く視野を広げることを通して、よりよい進路選択へむけて自立的態度と支援的環境づくりを実現する。</p> <p>II <b>「自己PR大作戦」</b></p> <p>将来に向けて自分の良さや志を伝える表現力を磨くことを通して、主体的な自分の生き方について考えを深める。</p>	<p><b>広南「未来貢献」PROJECT</b></p> <p>よりよい未来づくりへ向けて自分たちが貢献する方策について提言する創作劇づくりを通して、社会の担い手としての挑戦心と使命感を高める。</p>	<p><b>地域（匠）に学ぶ</b></p> <p>日本の優れた伝統文化を地域の方から学び、伝えることのできる力を身に付ける。</p>

指導方法	学習の評価	指導体制
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教師はファシリテーターとして、生徒の主体性と協働的な態度を高める支援を見通しを持って行う。</li> <li>・ 地域ボランティアや地域の人材を有効に活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒の課題や学習計画、挑戦・探究の過程を振り返るポートフォリオ評価</li> <li>・ ルーブリックによる自己評価・他者評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全教職員が協働し、学年組織を中心に指導を進める。</li> <li>・ 地域の人材や外部団体と連携し、協働指導体制を構築していく。</li> </ul>

# 平成28年度 資質・能力の育成に係る年間指導計画 呉市立広南中学校 第1学年

月	4	5	6	7・8	9	10	11	12	1	2	3
行事	授業式 入学式 交通安全教室 学力試験 家庭訪問 授業参観・PTA総会	合同運動会 中間試験	呉市総体 実力試験	発表会(土曜参観日) 期末試験 大掃除 授業式 懇談会	授業式 実力試験	中間試験 文化活動発表会 実力試験	校外学習 総合文化行事 授業参観・進路説明会 期末試験 選抜訓練	広地区クレーン活動 大掃除 終業式 懇談会	授業式 授業参観・懇談会 中間試験(1・2年) 学年末試験(1・2年) 卒業式 大掃除 修学旅行(2年)		学年末試験(1・2年) 卒業式 大掃除 離任式
単元名	ようこそ先輩	成功の研究PROJECT	魅力的な生き方さか!				落語に挑戦!				
学習課程	情報収集・振り返り	情報収集・整理・分析・振り返り	情報収集・整理・分析・まとめ・創造・表現・振り返り	情報収集・整理・分析・まとめ・創造・表現・振り返り							
主な内容	先輩の生き方から学ぶ	状況の発生条件について探究する。	プロジェクトを通して、生き方について視野を広げあう。	日本の古典文化「落語」に挑戦することを通して、表現力を高め、人を楽しませる喜びを味わう。							
知識		先輩の研究結果を知る。	本の中から生き方のキーワードをみつけることができる。	日本の古典文化「落語」について知る。							
スキル	課題内容を自分なりに理解している①②	課題を設定し、実験を通して検証する。①②	本から、生き方について自分の考えを加えて原稿やフリップに表現する。②	落語を面白さを表現する語術を身に付ける。②							
意欲・態度	先輩の生き方から学ぼうとしている。③④	疑いがない町づくりを挑戦しようとしている。③④	難い本でも自分の考えを伝えたい。③④	落語に挑戦しようとしている。③④							
倫理観	先輩に感謝の気持ちを伝えようとしている。⑤⑥	課題の達成に感謝し、フリップを通じて学びたいという気持ちを持っている。⑤⑥		落語を披露することで喜んでもらう。⑤⑥							
国語	風物の五線譜 話し方はどうか①	詩の心・春鳥の喜び 飛べかともめ③	文の組み立て 書・楷書を書く②	夜の浜辺 スズメは本当に減っているか②	竹取物語② 才盾 百人一首	少年の日の思い出 伊曾保物語②	鳥語の分類② 書・行書を書く④	鳥語の種類や働き⑥ 書・調和体を書く④	ニュースの見方を考える①	名づけられた菓④ トロップ	鳥語の種類や働き⑥ 書・調和体を書く④
社会	世界の姿①②④	世界各地の人々と生活と環境②	アジヤ・ヨーロッパ・アフリカ・北南アメリカ・オセアニア①②④	世界の諸地域	世界のさまざまな地域	世界のあけぼのと世界の文明①④	日本のあけぼのと世界の文明①④	日本のあけぼの①② 日本の国の成り立ち④	日本の国の成り立ち④	武家政治の成立①②	武家政治の動き①②
数学		正の数・負の数②	文字式②	1次方程式②	比例と反比例②④		平面図形①②	空間図形①②			資料の整理と活用①④
理科		【植物の世界】 葉・茎・根のつくりとばらさき①	【大地の変化】 火をふく大蛇①②③		【身のまわりの物質】 身のまわりの物質とその性質①②③			【身のまわりの現象】 光の世界②③			
音楽	拍の落ちにのって明るく歌おう②④	曲のまとまりを感じ取り、楽器を工夫しよう②	情景を想像しながら音楽のよさや美しさを味わおう④	情景に合う音楽をつくろう③	パートの役割や音の重なり方の特徴を感じ取り、合奏しよう②④	情景を想像しながら音楽のよさや美しさを味わおう④	日本の民謡やアジアの諸民族音楽に親しもう①②⑥	日本の歌のよさや美しさを味わおう②⑥	楽曲の特徴を感じ取り、その魅力を味わおう③⑥	楽曲の特徴を感じ取り、その魅力を味わおう③⑥	楽曲を感じ取って、楽器を工夫し、声を合わせて歌おう④
美術		【絵画・デザイン】 基礎アッサン②③⑥	【鑑賞】 屏風絵①②③	【工芸・デザイン】 木工芸・単純化デザイン②③⑥	【鑑賞】 ①②③⑥						
保健		心身の機能の発達と心の健康①	心身の機能の発達と心の健康①	心の健康①							健康と環境①
体育	体づくり運動① ダンス(ソラーン)②⑤	ダンス(ソラーン)②⑤ 陸上競技(短距離走)③	体づくり運動① ハルポール④	ハルポール④ ソフボール④	陸上競技(リレー)③	器械運動(マット運動)③	陸上競技(長距離走)③	バスケット④	柔道⑤		体づくり運動①
技術	生活とものづくりの技術①	材料の特徴と加工方法①④	製品の設計①④	製品の加工①	組み立てと仕上げ⑤						技術と環境⑥
家庭		家庭生活と自立③	家庭生活と自立③	マイバッグ作り③	住生活と自立						私たちの消費生活⑤⑥
英語	Get Ready 1~5①	Lesson 1②④ Lesson 2②④	Lesson 3②④	Lesson 4①	Lesson 5②③	Lesson 6①②	Lesson 7②	Lesson 8②③	Lesson 9②	Lesson 9②	Let's Read
道徳	1~①(道徳)自分の歩みについて 1~①(17)の道徳	2~②(道徳)自分の歩みについて 4~④(道徳)自分の歩みについて	1~①(私の道徳)道徳 3~③(1)の道徳 5~⑤(1)の道徳	2~②(夜の道徳) 4~④(10)の道徳	4~④(2)の道徳 3~③(1)の道徳 4~④(1)の道徳	4~④(1)の道徳 3~③(1)の道徳 4~④(1)の道徳	4~④(1)の道徳 3~③(1)の道徳 4~④(1)の道徳	4~④(1)の道徳 3~③(1)の道徳 4~④(1)の道徳	1~①(道徳)自分の歩みについて 2~②(道徳)自分の歩みについて 4~④(道徳)自分の歩みについて	1~①(道徳)自分の歩みについて 2~②(道徳)自分の歩みについて 4~④(道徳)自分の歩みについて	1~①(道徳)自分の歩みについて 2~②(道徳)自分の歩みについて 4~④(道徳)自分の歩みについて
特別活動	学級活動 生徒総会	学級活動 生徒総会	学級活動 生徒総会	学級活動 生徒総会	学級活動 生徒総会	学級活動 生徒総会	学級活動 生徒総会	学級活動 生徒総会	学級活動 生徒総会	学級活動 生徒総会	学級活動 生徒総会

育てようとする資質・能力と各教科との関連

平成28年度 資質・能力の育成に係る年間指導計画 呉市立広南中学校 第2学年

育てようとする資質・能力【知識】(スキル) ①情報収集力 ②思考力・表現力 ③意欲・態度 ④挑戦心・探究心 ⑤感謝・賞讃 ⑥責任感・使命感

Table with columns for month (月), subject (行事), and learning content (単元名, 学習課程, 主な内容, 知識, スキル, 意欲・態度, 価値観・倫理観, 言語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健, 体育, 技術, 家庭, 英語, 道徳, 職業家庭, 特別活動). It details the curriculum for the second year, including subjects like Japanese, English, Science, and Music, and lists specific learning objectives and activities for each.

平成28年度 資質・能力の育成に係る年間指導計画 第3学年 呉市立広南中学校

育てようとする資質・能力 【知識】 【スキル】 ①情報収集力 ②思考力・表現力 ③挑戦心・探究心 ④協働的な態度 【価値観】 ⑤感謝・貢献 ⑥責任感・使命感

Table with columns for Month (月), Activity (行事), Unit Name (単元名), Learning Course (学習課程), Main Content (主な内容), Quality/Capability (資質・能力), Language (国語), Social Studies (社会), Math (数学), Science (理科), Music (音楽), Art (美術), Health (保健), Physical Education (体育), Technology (技術), Family (家庭), English (英語), Moral Education (道徳), and Special Activities (特別活動). Each cell contains detailed lesson plans and activities.

育てようとする資質・能力と各教科との関連

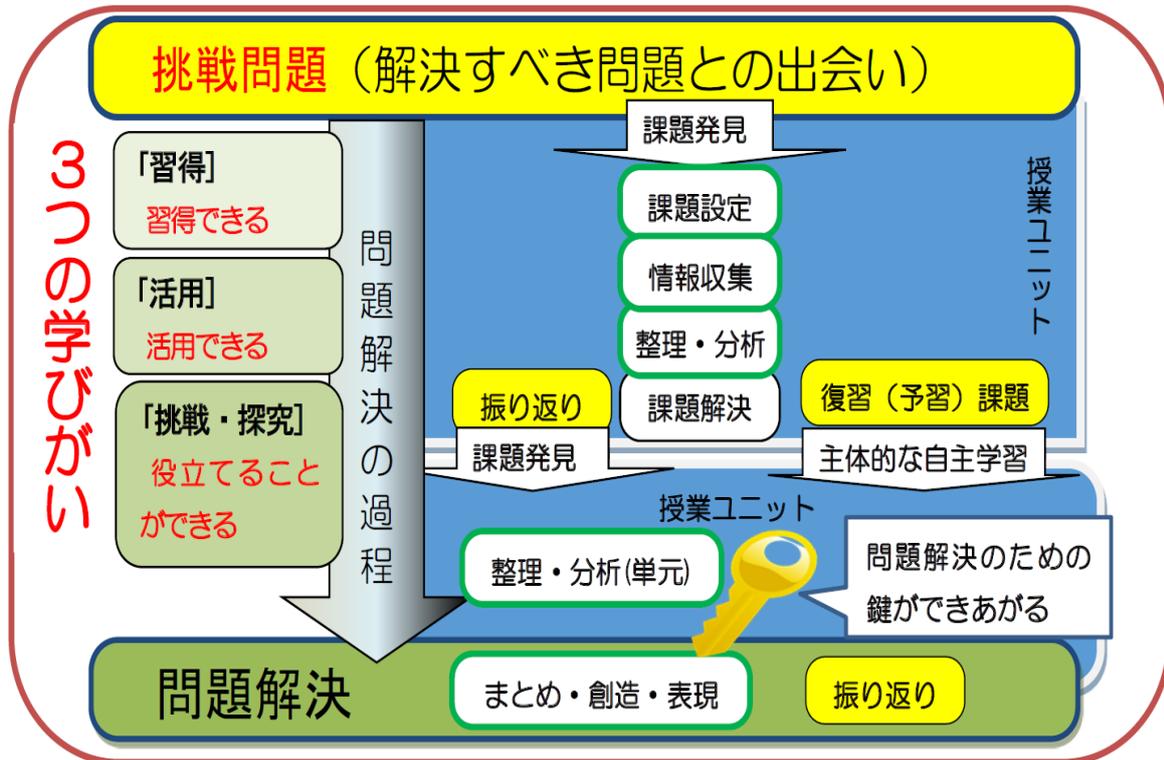
## 研究仮説

単元の初めに「挑戦問題」を設定した単元構成を仕組むとともに、問題解決の過程で生じる課題発見・解決学習を行うことは、主体的な学びを促しコンピテンシーを育てるのに有効であろう。

※ コンピテンシー = 知識・技能を活用し、協働して新しい価値を生み出せる資質・能力

## 教科学習における課題発見・解決学習の単元づくり

### 単元モデル図



### 1 「主体的な学び」を育てる3つの学びがいを意識した指導計画

#### 取組の5つのポイント

#### 〔習得〕

新しい知識や技能・考えを習得できる

#### 〔活用〕

学んだことが活用できる

#### 〔挑戦・探究〕

学んだことを役立てることができる

### 2 挑戦問題の設定

- ・ 単元を貫く深い問いを含むもので、学習の成果を役立てれば解決できるもの
- ・ 問題が自分事として捉えられ、解決へのやりがいや達成感が感じられるもの

### 3 振り返り時間(5分)の充実

- ・ 自分自身で学んだことを整理させることで学習の定着状況の把握
- ・ 学習から生まれるさらなる問い(課題発見)(以降の授業の課題設定に生かす)

### 4 自学自習への意欲を引き出す予習課題・復習課題の設定

- ・ 予習課題(次の時間で活躍させるための準備) 個人思考・情報収集
- ・ 復習課題及び単元末課題(学んだことを定着・活用・発展させる課題)

### 5 ワークシート・ノート指導の工夫

- ・ 指導方法(問題解決の過程を踏まえた指導)の共有及び改善

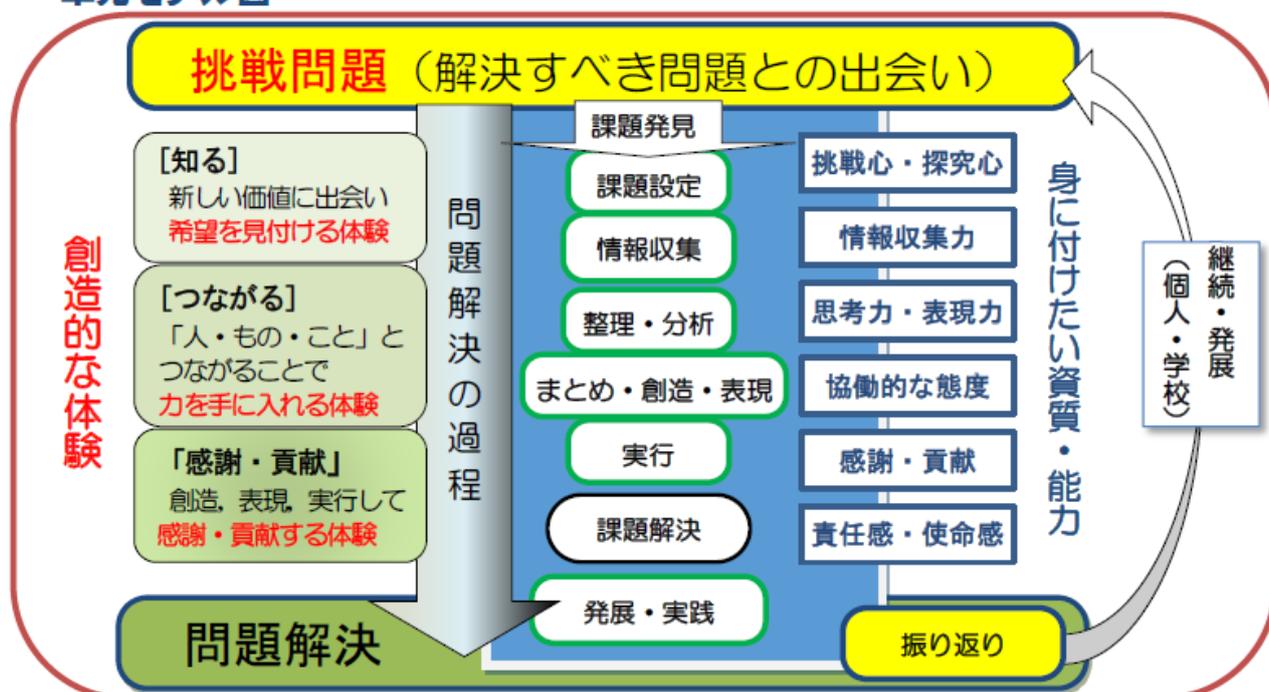
# 総合的な学習の時間における課題発見・解決学習の単元づくり

## 広南中学校の総合的な学習の時間の目標

生き方について広く深く視野を広げるとともに、故里を知り、つながり、貢献する生き方と方策を協働的・創造的に探究する活動を通して、課題解決の能力や資質を育成し、学び方や、ものの考え方を身に付け、主体的な自分の生き方を考えることができる。

単元	生き方学習	ふるさと学習
目標	<b>不かく尋ね たかく志す</b> 広く深く視野を広げ、不を覆す高き志を胸に	<b>温故挑新</b> 故里を温め、新しきに挑戦しよう <地域との交流>

### 単元モデル図



### 1 「新しい価値を生み出す資質・能力」を育てる創造的な体験を意識した指導計画

#### 取組の4つのポイント

[知る]

新しい価値に出会い  
希望を見付ける

[つながる]

「人・もの・こと」とつながることで力を手に入れる

「感謝・貢献」

創造、表現、実行して  
感謝・貢献する

挑戦心・探究心

情報収集力

思考力・表現力

協働的な態度

感謝・貢献

責任感・使命感

### 2 挑戦問題の設定

- ・ 自らの成長（努力）と仲間との協働を得て解決できるもの
- ・ 自己効力感・挑戦心（主体的に学ぶ意欲）の変容が期待できるもの  
<生き方学習> 「不かく尋ね高く志す」
- ・ 人間の生き方について広く深く視野を開くきっかけとなるもの  
<ふるさと学習> 「温故挑新」（故里を温め、新しきに挑戦）  
小学校 ・ 体験を通して故里に感謝の気持ちを育てることができるもの  
中学校 ・ 体験を通して故里に貢献する喜びを感じることができるもの

### 3 より深い継続的な取組にするための工夫

<生き方学習> 学んだことを実践していけるもの  
<ふるさと学習>

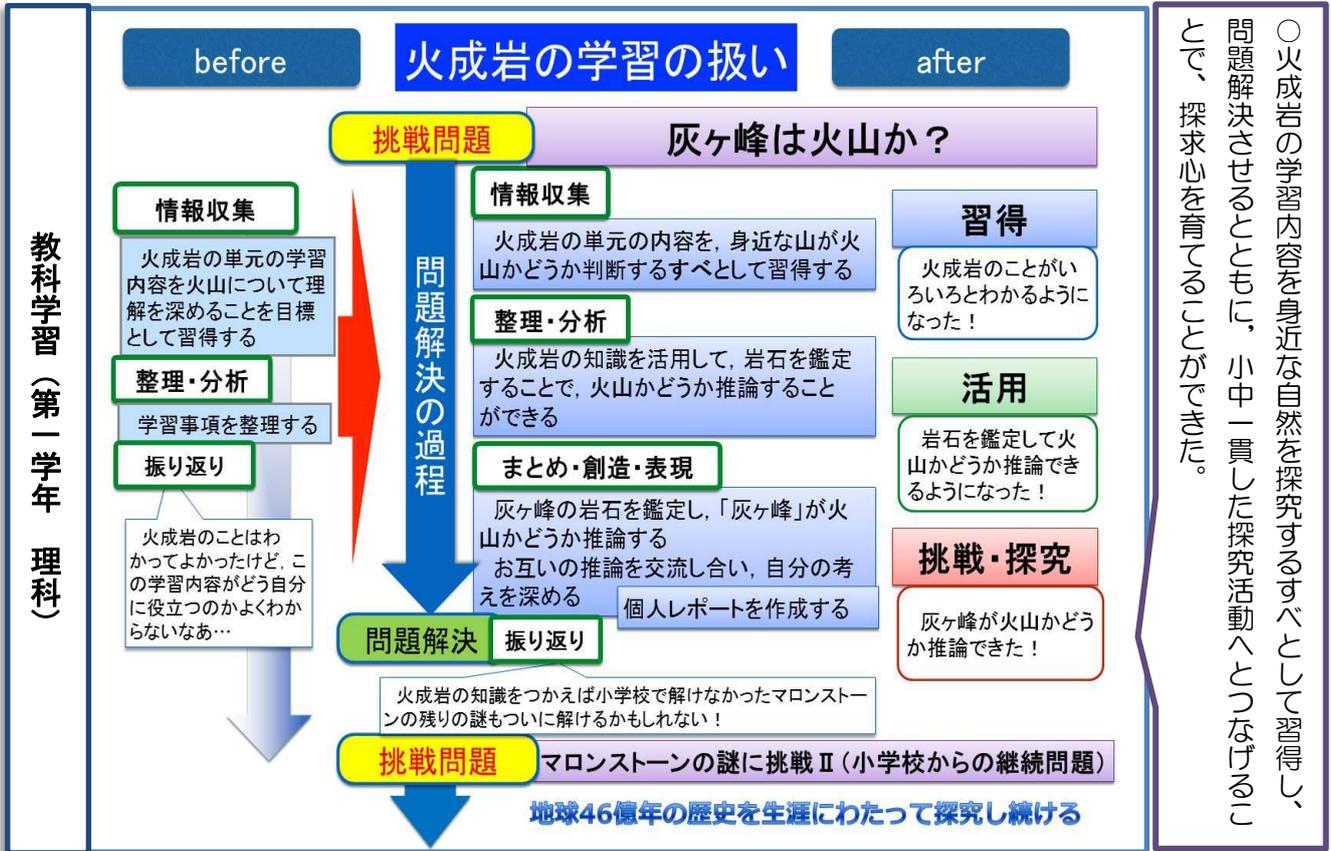
- ・ 学校の伝統として先輩の取組をベースに継続・発展していけるもの
- ・ 絆PROJECT（小中異学年交流で先生として小学生へ指導）

### 4 ワークシートづくり

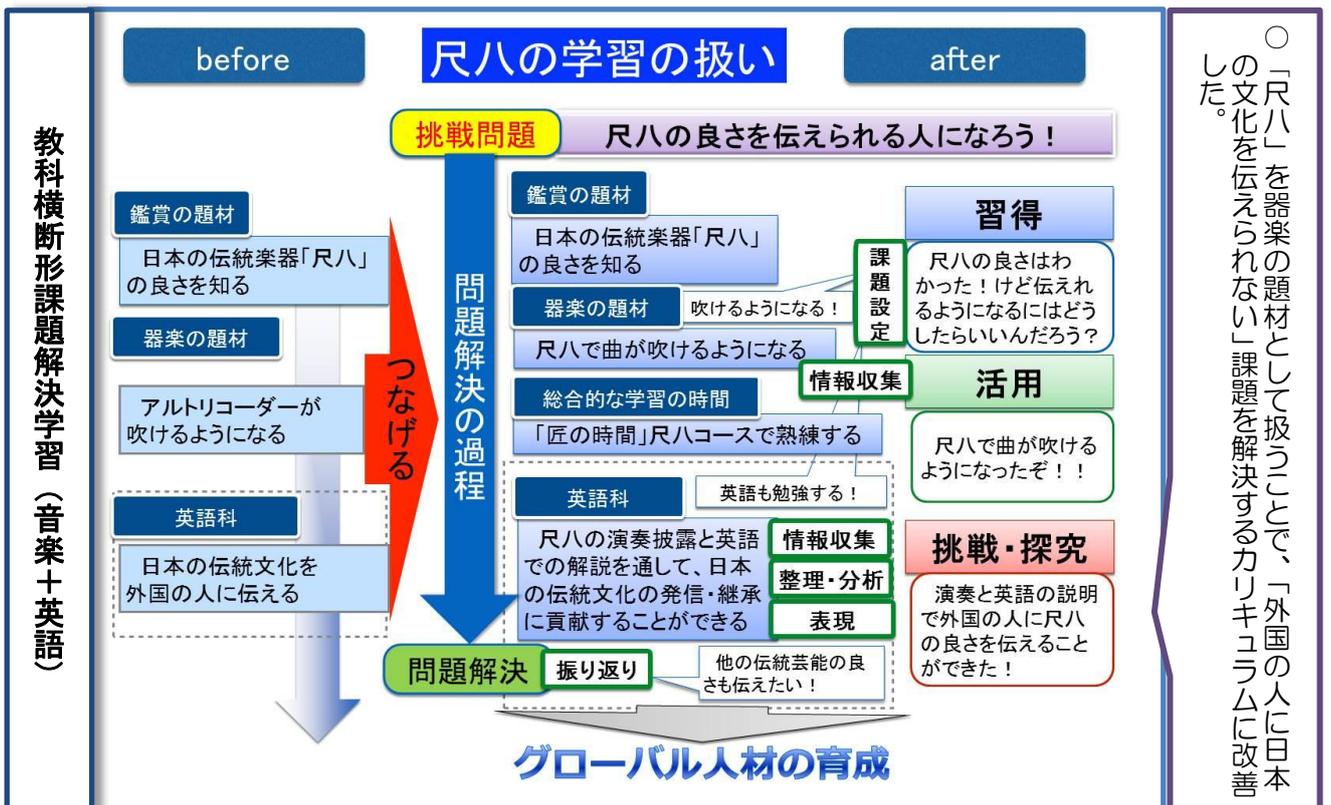
- ・ 指導方法（問題解決の過程を踏まえた指導）の共有及び改善

# 開発した課題発見・解決型の単元・題材 before after

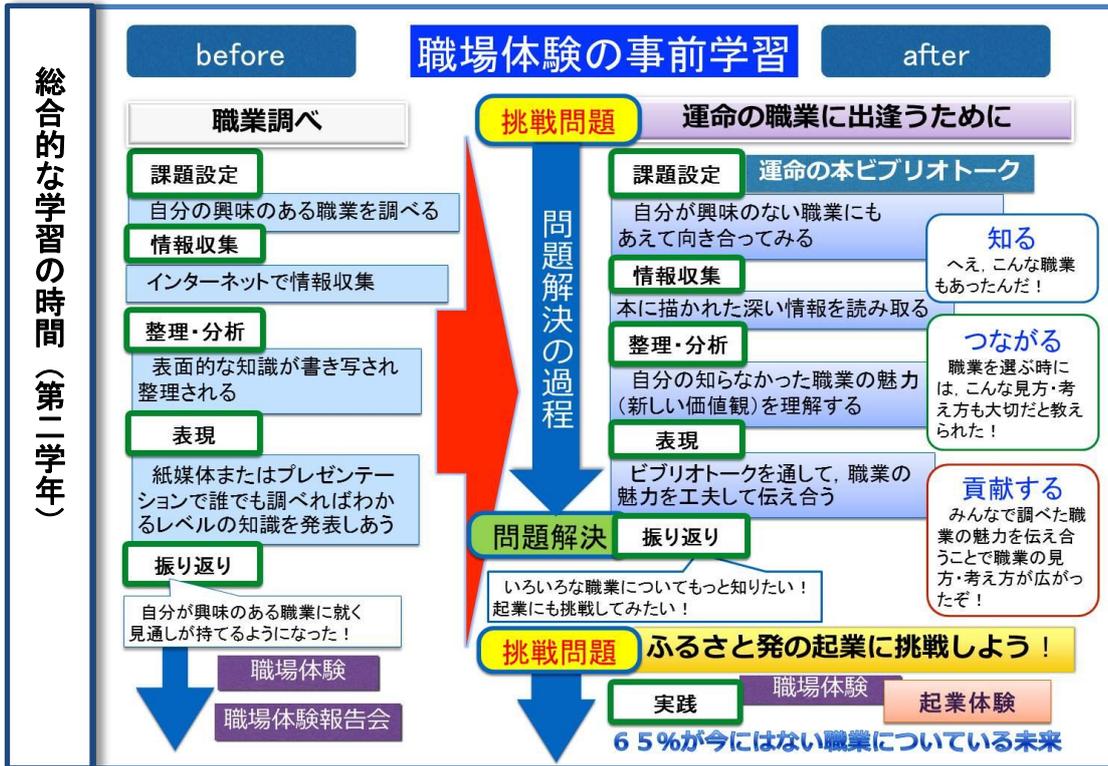
(例1) 教科の単元構成の改善



(例2) 教科横断型の単元構成の改善

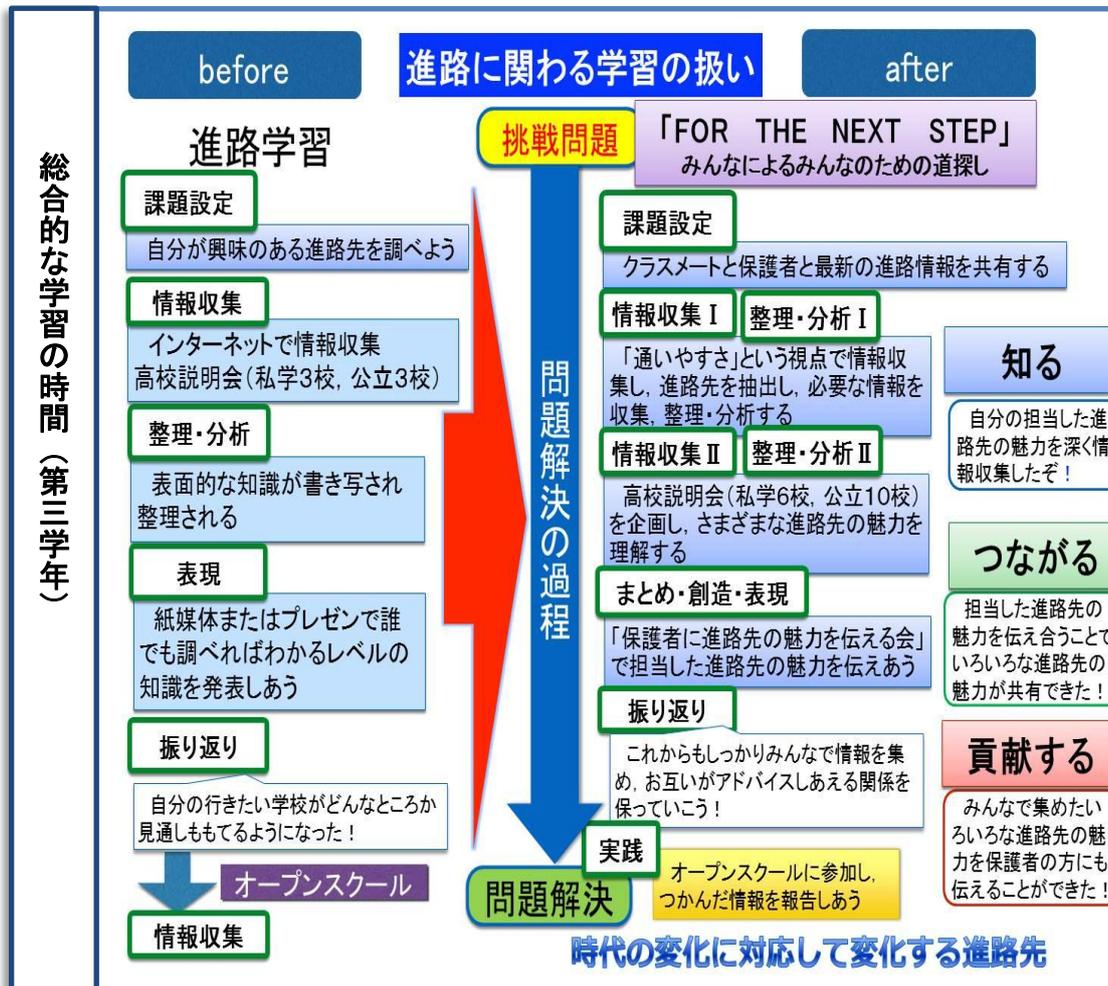


(例3) 国語科との関連を生かした単元構成の改善



○運命ビブリオトークを活用し職業に対する視野を協働して広げることで、自分の希望にそわない職場体験先へも主体的に何かを学ぼうとする意欲を育てた。

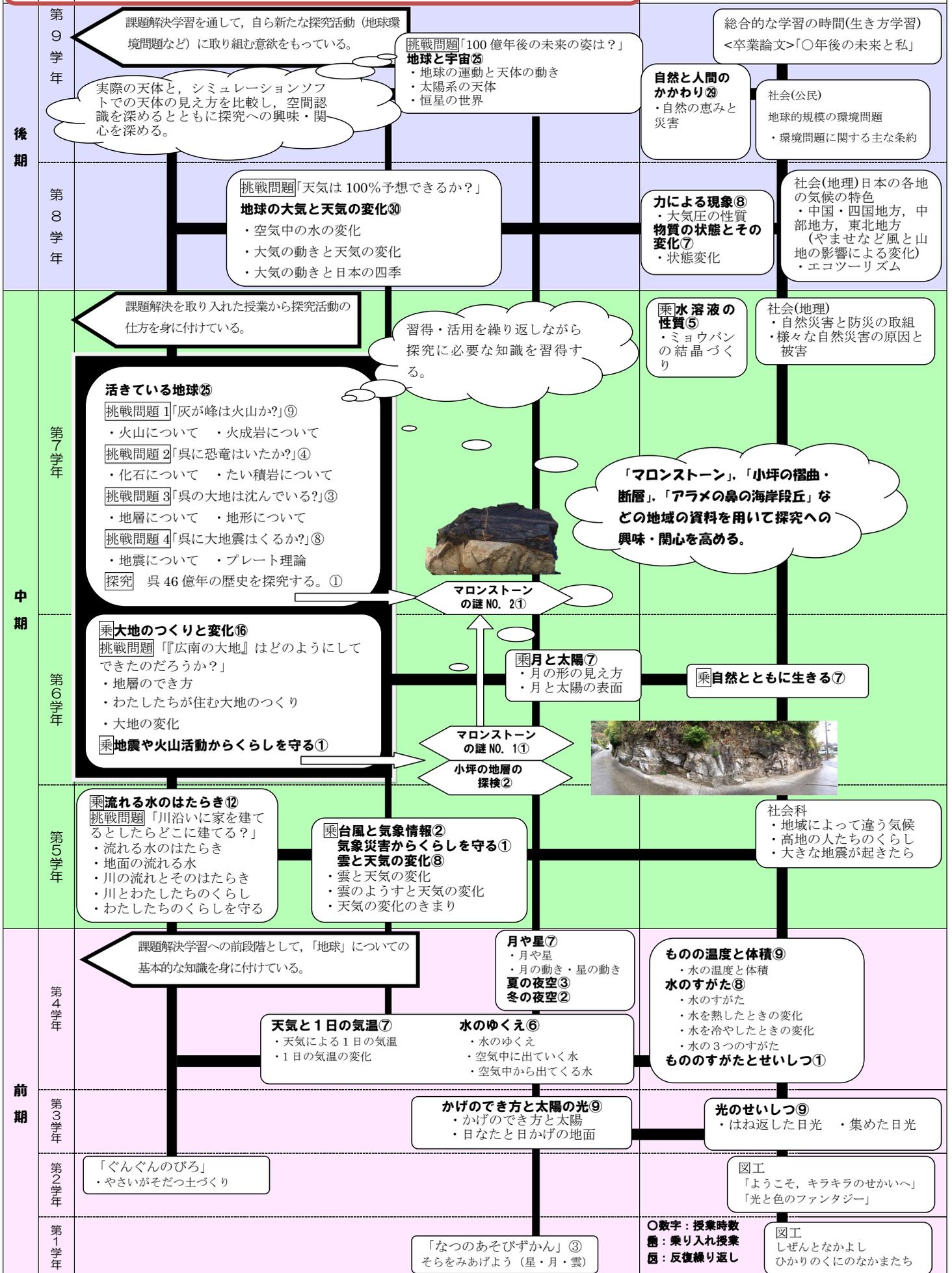
(例4) より協働的な探究活動への改善



○クラスメイト・保護者と進路選択に関わる情報の共有・支援体制の確立を目標に、個人の探究活動ではなく、協働して広く深い情報収集を行う探究活動に改善した。

「地球」領域における探究心と科学的思考力を育てる指導計画 (理科)

他領域・他教科等との関わり



## 【平成 27 年度 ICT の有効活用による授業改善】

呉市立広南中学校 教頭 福田 眞二

### 1 「主体的な学び」の創造に向けた授業時間の有効活用

中学校音楽科の年間授業時数は、第 1 学年 4 5 時間、第 2 学年 3 5 時間、第 3 学年 3 5 時間である。この限られた貴重な時間をどのように活用して音楽科の教育目標を達成させるかは、音楽科教員に課せられた重要な課題である。年間指導計画における題材の精選とともに、貴重な 5 0 分間の指導と評価方法の工夫改善が不可欠である。また、他教科においても、「主体的な学び」の創造に向けて、学習意欲向上のための「挑戦問題」の効果的な提示や、授業中盤での「深い学び（個人思考から集団思考、さらに思考の共有化）」の場の設定、さらに、授業末での「振り返り（次時につなげるための授業内容の理解度や疑問点の把握）」の時間の確保のためにも、ICTの有効活用は、今後より一層その重要性が増すと考える。

### 2 平成 2 7 年度における ICT の有効活用のための基盤づくり

今年度においては、第一に、「ICT活用のための環境整備」、第二に、「ICT活用に向けた人材育成」に主眼を置いて取り組んだ。

#### (1) ICT活用のための環境整備

呉市内の多くの中学校においては、各学級や特別教室に「校内LAN」が設置されている。また、呉市教育委員会から、無線LAN用のルーターが 2 台、無線LAN機能付きパソコンが 6 台支給され、各教室にはデジタルテレビも設置されている。この恵まれた環境を、いかに活用するかが各校の課題であるとも言える。今年度、本校においては、この環境を活かすために、「電子黒板機能付プロジェクター」を 2 台、さらに、各学級と理科室、音楽室に「教材提示装置」を設置し、その活用を試みた。

#### (2) ICT活用のための人材育成

充実したICT環境及び機器があったとしても、それを使いこなす人材がいなければ、宝のもちぐされである。今年度、初任者校内指導教員に任命されたことを足掛かりに、まず、音楽科初任者において、次いで、音楽科初任者の授業研究等を見て、ICT活用に大変興味を示した数学科教員の人材育成を図った。以下、その具体的な内容について記述する。

### 3 ICTの有効活用による授業改善実践事例

#### (1) 音楽科における ICT 活用による視聴覚支援と時間の有効活用

○プロジェクター及び電子黒板とパソコンソフト・Web コンテンツ活用による効果的な授業展開

音楽科において、視聴覚教材・教具や機器の充実は必要不可欠である。機器においては、電子黒板機能付きプロジェクター【写真 1】の活用により、大画面での視覚支援と電子ペン操作による授業時間確保を、視聴



【写真2 授業後の振り返りが可能】

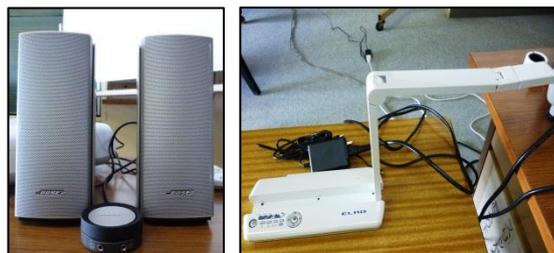
覚教材・教具では、次世代プレゼンテーションソフト (Prezi) 【写真 2】やパワーポイントの教材開発と優れた Web コンテンツの検索・活用（「文化デジタルライブラリー」等）による生徒の学習意欲・学力の向上と授業展開の効率化を図ることができた。



【写真1 電子黒板の活用】

○パソコン周辺機器の充実による機器操作の一体化による授業展開の効率化

さらに、高性能小型スピーカー（ハイレゾ対応）や教材提示装置【写真3】等、パソコン周辺機器の充実を図ることで、より一層の視聴覚支援と機器操作の一体化による授業展開の効率化が可能となった。



【写真3 高性能小型スピーカーと教材提示装置】

○生徒の授業後のアンケートより



**ICT 活用の肯定的評価: 100%。「説明を聞いている時、ポイントがどこなのか色分けがしてあり分かりやすかった。」「口頭で説明を受けるより分かりやすい」「フックが吹いている映像をすぐに確認できるので、自分たちの練習に活用できた。」**

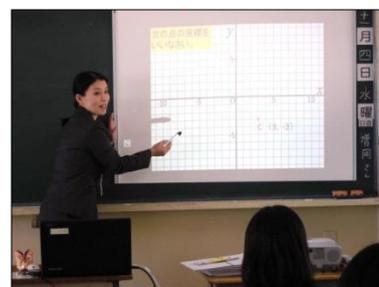
## (2) 数学科における ICT 活用による前時の振り返りの効率化と視覚支援による理解の深化

○数学科においては、普通教室を使用するため、黒板に貼り付けられる小型スクリーンを使用し、板書のスペースも確保した。【写真4】



【写真4 貼付式小型スクリーン】

授業始めの「前時の振り返り」では、クイズ形式で次々に問題と解答、効果音も出て、生徒の学習意欲の向上に大変効果的であった。【写真5】



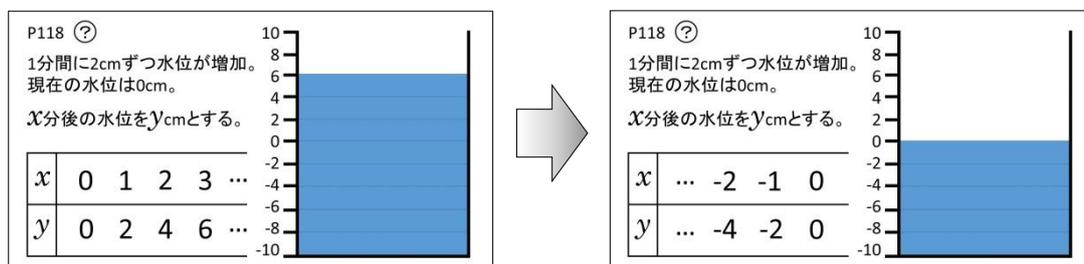
【写真5 前時の振り返り場面】

○授業中盤の思考の共有化・深化の場面では、ノート・ワークシートに書いた自分の問題の解き方を「教材提示装置」で示しながら説明することで、より分かりやすい説明が可能になるとともに、思考の共有化を図ることができた。【写真6】



【写真6】教材提示装置を利用した説明

○さらに、教材・教具の工夫として、自作のパワーポイントで関数の説明を行ったが、努力を要する生徒に対しての視覚支援ともなり、理解の深化に大いに役立った。【写真7】



【写真7】「教材・教具の工夫」自作のPowerPointによる効果的な視覚支援

## 4 次年度に向けて

次年度においては、今年度の電子黒板機能付プロジェクターの効果的な活用と新たな人材育成を踏まえ、新たに2台購入予定である。グローバル化の進展で、英語科においては「ピクチャーカードのデジタル教材化」が成された。この事を受け、本校においても、英語科におけるICTの効果的な活用と人材育成を図りたい。さらに、ICT活用の校内研修を実施し、他教科での効果的な活用方法を模索するとともに、新たな教材・教具の開発に対する教員の一層の意欲の向上を図りたい。

# 3 成果物Ⅱ

平成 27 年度開発単元の紹介

○教科

○総合的な学習の時間

学習指導要領やワークシートは、広南中学校HP (<http://www.kure-city.jp/~hirmc/>) に掲載しています。ダウンロードできますので、多くの方に活用して頂き、ご意見等頂けると幸いです。

## 「伝統文化を楽しもう 平家物語 那須与一」

## 挑戦問題 『平家物語の書評文に挑戦』

本単元で育成する資質・能力

情報収集能力, 思考力・表現力, 挑戦心・探究心, 責任感・使命感

## 期待される生徒の変容

挑戦問題として書評文を書くことを目標にすることで、作品の要素をしっかりと読み取っていく活動を手がかりとして、本作品だけでなく文学作品からメッセージを読み取ろうとする学びの意欲が高まることが期待できる。

## 平成 27 年度の取組より

## 【初発の生徒の振り返りより】

- ・一語一語の意味が難しかったです。作者がはっきりしないのはなぜだろうと思いました。
- ・冒頭の内容が深いなあと思いました。
- ・どうして戦の中で、扇を出してきて「射てみる」ということになったのかなあと思いました。
- ・対句表現や漢語表現が使われていて、おもしろいなあと思いました。
- ・これは平家の目線で書いたものかなあと思いました。

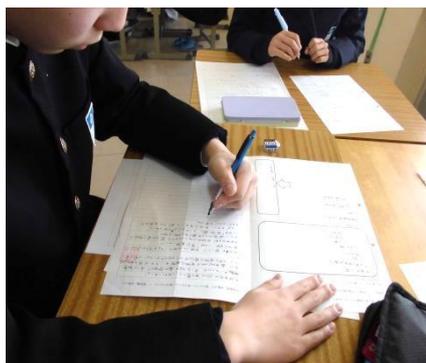


## 【研究終了後の生徒の振り返りより】

- ・平家と源氏の価値観の違いがよく分かりました。
- ・最初は源平合戦のことが書いてある物語かと思ったけど、日本人の価値観や昔の人の考え方を読み取ることができる作品だということが分かりました。こんなに古典がおもしろいとは思いませんでした。
- ・現代にも通用する価値観の違いが表されていることが分かりました。
- ・時代や生きている場所で価値観がこんなに違うのだということが分かりました。もっと他の作品も読んでみたいと思いました。
- ・「平家物語」は人間社会のはかなさを表しているなあと感じました。
- ・一生懸命生きることが「美」だと感じました。



## 平成 28 年度指導計画・ワークシートの改善のポイント



- ・物語全体からの「メッセージを読み取る」という活動を主たる目的にして、教科書に掲載されている『平家物語』の「冒頭」「敦盛の最期」「那須与一」「弓流し」の場面において、それぞれの登場人物の心情を読み取る。読み取った登場人物の「生き方」「価値観」を積み重ねる形で作品からのメッセージを完成させたいと考える。
- ・心情は読み取れても、メッセージまでは考えられないという生徒もいるので、グループでの話し合いを通して、一人一人が「平家物語が伝えたいことは何か」まで考えられるよう深まりを持たせていきたい。
- ・「振り返りシート」を利用して、授業での気づきや疑問を共有化し、考えていく場面をつくるきっかけとする。

# 「比例と反比例」 挑戦問題 『関数を利用して地球を救え！』

本単元で育成する資質・能力

思考力・表現力

協働的な態度

## 期待される生徒の変容

数の範囲が拡張されたことにより、未来や過去など未知の数量をも推測することができる関数の良さに気付くことができ、関数に対する学びの意欲が高まってきた。

## 平成 27 年度 の 取 組 よ り

### 【初発の生徒の感想より】

- ・小学校のときに習ったけど、忘れていました。でも今からまたいろいろ学習していきたいと思います。おもしろいなと思いました。
- ・小学校の学習の続きでどんなことをするか楽しみです。どうしたら解決できるのか早く知りたいです。



### 【研究終了後の生徒の感想より】

- ・比例・反比例の学習をして、比例と反比例はわからない未知の数字も計算などで求めることができるということがわかりました。学習することで挑戦問題が結構簡単に解けてびっくりしました。
- ・僕は比例と反比例ではグラフ、表、そして式まで使うことができるようになりました。挑戦問題を解いて、式やグラフを使えば簡単にわかるんだと思いました。
- ・応用・活用問題は楽しいです。やっと ARAKI 博士を救助することができました。最初はかなり難しいと思っていたのですが、最初の方の学習でも解くことができたことがわかってものすごく驚きました。



## 平成 28 年度 指導計画・ワークシートの改善のポイント

- ・振り返りが、生徒の意識や理解を把握することや、授業展開をスパイラルに行うことに役立つことがわかったので、継続的に振り返りを行う。また、振り返りが感想にならないように、次の学習につながるような振り返りができるように指導していく。
- ・生徒の発言をつなげたり、さらには生徒の言葉でまとめたりすることが生徒の意欲にもつながると考えられるので、そのための工夫を取り入れたい。
- ・本時では式に視点を向けさせる工夫があればもっと意見が活発に出たと思われる。それぞれの時間でのポイントをしっかり絞って視覚支援による視点で教材を見直したい。
- ・挑戦問題によって、受験教科として「やらなくてはならない問題」ではなく、「やってみたい問題」という気持ちを引き出すことができた。挑戦問題を単元の最初に示し、生徒の意欲を喚起し、さらに知識と自信を積み重ねることで、主体的に学習する姿勢を引き出すことができたことがわかった。2 学年での 1 次関数、3 年生での 2 乗に比例する関数へとつなげていき、さらに生徒の関数の世界をより広げていきたい。



# 「火山活動と火成岩」 挑戦問題 『灰ヶ峰は火山か?』

本単元で育成する資質・能力

思考力・表現力

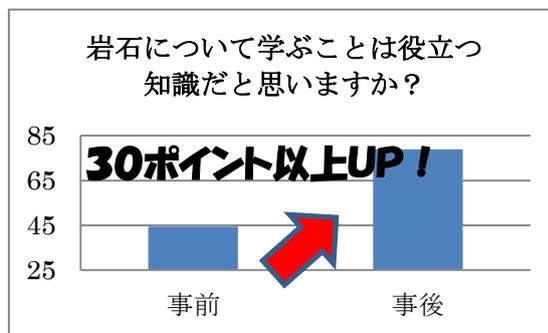
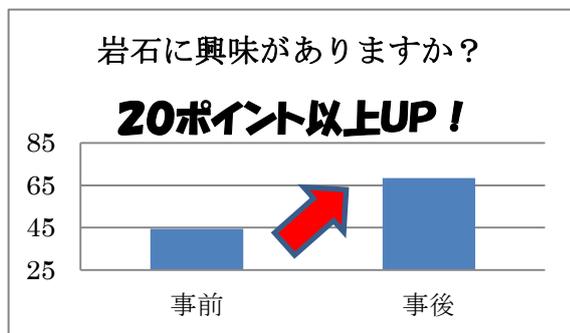
協働的な態度

挑戦心・探究心

## 期待される生徒の変容

教科書に載っている火山だけではなく、自分たちが住む地域の山が火山であるかどうかについての「挑戦問題」を提示することによって、生徒に興味・関心をもたせ、課題を「自分事」として捉えさせることができた。そのことから、意欲をもって学習していく姿が見られるようになった。

## 平成27年度の実践より



### 【初発の生徒の振り返りより】

- ・灰ヶ峰は火山ではないと思います。だけど、それを見分けるための情報も知識も少ないので困りました。広島には火山があることが分かりました。もしかしたら急に火山が噴火するかもしれないので怖いと思いました。(女子Aさん)
- ・自分の身のまわりにある山が火山どうかなんて、考えたこともないです。もし、灰ヶ峰が火山だったらと思うと少しびっくりするし、不安ですが、私は火山説に反対です。(女子Bさん)

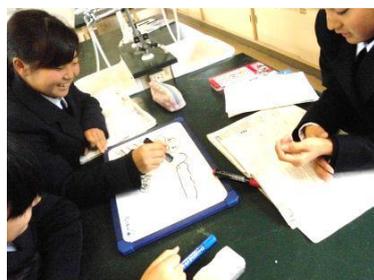


### 【研究終了後の生徒の振り返りより】

- ・私は、灰ヶ峰は火山だと思います。理由は灰ヶ峰や野呂山のまわりに岩石Aが広がっていました。岩石Aは、流紋岩なのか安山岩なのかは分からないけど、どちらにしろ火山岩なので、私は、火山だと考えました。(女子Aさん)
- ・灰ヶ峰が火山にしる、火山でないにしる、自分で挑戦問題が解けたし、謎を自分なりに発表できてよかったです。早く結果が知りたいです。(女子Bさん)



## 平成28年度指導計画・ワークシートの改善のポイント



- ・ワークシートやICTの活用で、説明時間を短縮し、岩石や鉱物などの観察時間を十分に確保することで、生徒の「観察眼」を育てていけると考える。
- ・予習課題や復習課題を毎時間設定したことにより、学習したことを定着させたり、次回の授業に興味をもたせたりすることができた。
- ・昨年度は、学習後、すぐに個人レポートを書かせたが、自分の考えをまとめることが難しい生徒も多くいた。そこで、今年は、班で考えを整理させてからレポートを書かせた。

## 「日本の伝統音楽・楽器に親しもう」

挑戦問題 『尺八の良さを伝えられる人になろう』

校内指導教員 福田 眞二

本題材で育成する資質・能力

情報収集力、思考力・表現力、責任感・使命感

## 平成 27 年度「授業改善による生徒の変容」

## 「我が国の伝統音楽」に対する生徒実態

本校の第1学年を対象に意識調査を行ったところ、「和楽器を演奏してみたいですか」、「日本の伝統音楽に興味がありますか」という質問に対して、ともに肯定的評価が15%と大変低く、多くの生徒が興味をもっていないことが分かった。しかし、「日本の伝統音楽について知りたいですか」という質問に対しては、肯定的評価が70%で、その理由として、「興味はないが日本人として知っておくべきだと思う」、「自分の国のことだから」という回答が多かった。

## 「主体的な学び」の創造に向けた「授業改善」のポイント

- ① 「より効果的な知識・考えの習得や授業展開での時間の確保のためのICTの活用」
- ② 「『挑戦問題』の設定と問題解決の過程で生じる『課題発見・解決学習』の実施による生徒の主体性の育成」

## 「主体的な学び」の創造に向けた授業実践と成果

## ① ICT活用による視聴覚支援と時間の有効活用

機器においては、電子黒板機能付きプロジェクターの活用により、大画面での視覚支援と電子ペン操作による授業時間確保を、視聴覚教材・教具では、パワーポイントでの教材開発と優れたWebコンテンツの活用（「文化デジタルライブラリー」等）による生徒の学習意欲の向上と授業展開の効率化を図ることができた。



ICT活用の肯定的評価 100%。「説明を聞いている時、ポイントがどこなのか色分けがしてあり分かりやすかった。」「口頭で説明を受けるより分かりやすい」「フロが映っている映像をすぐに確認できるので、自分たちの練習に活用できた」



## ② 挑戦問題及び予習課題の提示と深い学びに向けた授業展開の工夫

授業実施2日前に、塩ビ尺八を生徒全員に配付し、「これは何でしょう」という問いかけとともに、授業までに音出しに挑戦することを予習課題とした。生徒は興味津々で、横にして吹いてみたり、さかさまにしてみたり、振ってみたりと色々なことをし始めた。「これは何だろう」という疑問を抱かせたことを取りかかりとし、学習への興味・関心を持たせる試みを行った。一方、授業展開では、個人思考から集団思考、そして、表現（発表）を通しての思考の共有化の時間を確保し、より深い学びにつなげた。



・「挑戦問題」の肯定的評価 90%：「みんな楽しそうに学習できて、自分の意見を出せるのは良いと思った。」「尺八を吹けたことが楽しくて、達成感が味わえた。」「知らない楽器に出会えて、体験することができた。」  
 ・「尺八を吹いてみてよかったと思う」の肯定的評価 85%  
 ・「尺八以外の日本の伝統楽器・音楽について知りたい」の肯定的評価 80%：「めったに吹くことのできない楽器にふれ、その歴史を知ることができてよかった。」「もっと他の伝統楽器を知りたい。」「尺八という楽器を大切に思う考えが強まった。」

## 平成 28 年度指導計画・ワークシート等改善計画

- ・本年度の尺八曲「単鶴鈴慕」の鑑賞において、「挑戦問題」提示や音楽的な感受の場面で実際に塩ビ尺八を使用することで、生徒の「主体的な学び」を引き出すことができたと考えている。そこで、次年度は、今年度の学習指導案を基にして、和楽器（尺八）の表現活動との関連を図った学習指導案を作成することとした。
- ・中学校音楽科の限られた授業時数の中で、今年度の大きな成果であったICTの有効活用は不可欠である。また、「深い学び」を引き出す授業展開の工夫とともに、「音楽的な感受」を見取るためのワークシート、生徒の授業の理解度を把握し次時につなげるための「振り返りシート」の工夫等、次年度もより一層の教材・教具の開発が必要である。

## 「地域の食材をつかったおいしい料理で家族をもてなそう」

挑戦問題 『究極の甘夏みかんゼリーを作ろう!』

本単元で育成する資質・能力

情報収集力 思考力・表現力 挑戦心・探究心 協働的な態度 感謝・貢献

## 期待される生徒の変容

「材料をかえることでどうしたらおいしいゼリーが作れるか?」という課題設定のとともに、調理し、いろいろな人に食べてもらい、感想を集めて問題解決を図る過程を通して、調理に対する探究心および主体的な学びの意欲を高めることができる。

## 平成 27 年度 の 取 組 よ り

## 【初発の生徒の感想より】

- ・ゼリーは作ったことあるけど、今まで作ったゼリーと違うゼリーを作ってみたいなあ。
- ・ゼリーに何か入れたのは作れないのかなあ。
- ・かたいゼリーは作れるのかなあ。



## 【単元終了後の生徒の感想より】

- ・自分で作った甘夏みかんのマーマレードを使ってゼリーが作れてうれしかった。
- ・甘夏みかんのゼリーは初めて食べたけどおいしかった。
- ・かたいゼリーとやわらかいゼリーの2つあるとは思わなかった。ふたつともおいしかったけど、私はかたいゼリーの方が好きでした。
- ・かたいゼリーとやわらかいゼリーの作り方のちがいがわかりました。
- ・家でも作って家族に食べてもらいたいです。
- ・一人で作れるようになったのでよかったです。



## 平成 28 年度 指導計画の改善のポイント

- ・郷土の特産物をしっかり学ぶ機会にする。
- ・インタビューして聞き取った内容をわかりやすく伝えられるように、メモをとる時に自分なりの工夫ができるような事例を提示し、いろんな場面で活用させていく。
- ・家族をもてなすための方法を自分で考えて計画を立てることができるように指導する。
- ・探究心を発揮できる次のステップの発展課題につなげる。

# 「蚊が0研究PROJECT」

SEASON 3

**挑戦問題** 『蚊の被害を0にする』

**本単元で育成する資質・能力**

情報収集能力 思考力・表現力 協働的な態度 挑戦心・探究心 感謝・貢献 責任感・使命感

## 期待される生徒の変容

2年連続県科学賞を受賞することで、学校の伝統として地域の環境衛生活動の一部として研究を続けることへの主体的な学びの意欲が育ちつつある。

## 平成27年度の取組より

### 【初発の生徒の感想より】

- ・「今は蚊がいないなど想像もできません。けれども、昔の人ができたのだから、私たちもできるかもしれないと思うようになりました。」
- ・自分も少しでも努力して、また多くの人に参加してもらえるように呼びかけたいです。私は「不可能に挑戦して成功する」というのがすごいと思うので、がんばりたいです。」



### 県科学賞紹介 ⊕ 県科学賞委員会賞



協力してもらった地域住民ら(右の3人)に受賞を報告する広南中科学部のメンバーら(呉市で)

「蚊が0研究PROJECT」  
SEASON 2 「銅板の罍」  
鶏糞の罍」ーボウフラが発生する条件および駆除効果の検証

### 【研究終了後の生徒の感想より】

- ・「私は、自分たちの地域が蚊とハエのいない町づくりに成功したことに驚き、興味を持ち、科学部ができることを知り、入部しました。しかし、私はあまり虫が好きではなかったため、はじめは入部したことを後悔したこともありましたが、先生方や科学部のメンバー、地域の方の協力でこのような形で研究をまとめることができました。今は、入部してとてもよかったと思っています。特に地域の方には実験に協力していただくなど、多大な協力をしていただきました。大変ありがとうございました。この研究を後輩たちが受け継いで、いつか蚊が0の町をつくってほしいと思います。」
- ・「私は、昨年先輩たちの研究をみて、私も地域に貢献できることをしたいと思って科学部に入部しました。でも、本当に地域から蚊をなくすることができるのだろうかと思うことがありました。しかし、研究を進めていくにつれて、蚊のいろいろなことについて分かるようになりました。また、アンケート結果でも蚊に刺された人が減ってきているので、このまま研究を続ければ、いつか蚊がいなくなるのではないかなと思うようになりました。」



## 平成28年度指導計画・ワークシートの改善のポイント

- ・昨年度は、ルーブリック等による振り返りをする時間と場面を設定することができなかった。そこで、この単元で育てたい資質・能力および態度についてルーブリックを作成し、それをワークシートの中で示すとともに、自己評価と教師の評価欄を加えた。このルーブリックを活用して、つけたい資質・能力を生徒と共有し、本単元を生徒とともに振り返る時間を持ちたい。
- ・昨年度は、発展課題として生徒有志による科学部としての活動しか行わなかった。今年度は、蚊のついでに調べ学習など、選択課題を用意し、全員に取り組みせたい。
- ・全員に取り組みさせる実験が生徒に達成感を持たせるものが準備できなかった。予備実験をしっかり行い、より達成感のある体験をさせたい。



## 「魅力的な生き方がし」

**挑戦問題** 『あなたはいくつの人生を知っていますか？』

本単元で育成する資質・能力

情報収集力 思考力・表現力 協働的な態度 挑戦心・探究心 感謝と貢献 責任感・使命感

## 期待される生徒の変容

ビブリオトークでの表現活動を通して、様々な人物の生き方を知り、考え方の視野を広げること、自分の生き方につなげて考えようとする態度が育ちつつある。

## 平成27年度の取組より

## 【初発の生徒の感想より】

- ・「私は、運命の本選びで水木茂さんの本を選びました。読めるか不安ですが、楽しみです。」
- ・「まったく興味のない本だし、内容も難いから読みたくない。」
- ・「面白そうな本が当たったので、いい発表ができるように頑張りたい。」



## 【研究終了後の生徒の感想より】

- ・私は、興味のない本は読んだことがなかったので、このビブリオトークを通して自分の好みでない本を読んで面白いと思えるようになりました。「私がアナウンサー」という本に出逢えたのも運命だなと思いました。」
- ・Aさんみたいな発表のしかたもあるんだなと思いました。Aさんの発表は、分かりやすく伝わりやすい内容で、良いページをピックアップして紹介していました。それに比べて私は……。次回のビブリオトークは本をよく読んでおこうと思いました。
- ・Bさんの発表のしかたがとても分かりやすかったです。大きな声で発表していました。Cさんのフリップもよかったです。とても面白そうで、本を読みたい気持ちになりました。
- ・本は文字ではなく、その書いた人の感情が入っていることが分かった。本にはその読んだ人の人生を変えることがあることも分かりました。いろいろな人の発表を聞いて、とても面白かったし、自分の人生のためにもなりました。



## 平成28年度指導計画・ワークシートの改善のポイント

- ・今年度この単元を実施して、準備段階である本の選定に課題がある。入学したばかりの生徒が、どのぐらいのレベルで本を読むことができるのかという把握が充分に出来ていなかったこともあり、授業内に選んだ本を読み切れないことがあった。また、本の内容が、「生き方の魅力探し」というプレゼンテーションをする場合に向いていないものもあったので、前もって教師側が本の内容を十分に把握しておかなければならない。
- ・ビブリオトークの教師見本を3パターン生徒に提示したことは効果があり、生徒自身もイメージできたので良かったが、見本を提示する時期を、本を読む前に提示する方がよい。
- ・本を読むとき、付箋を貼りながら気になったページをチェックしておくことで、原稿やフリップづくりに役立てることができた。



## 「運命の仕事に出会うために」

挑戦問題 『いくつの職業の魅力を知っていますか？』

本単元で育成する資質・能力

情報収集力 思考力・表現力 協働的な態度 挑戦心・探究心 感謝・貢献 責任感・使命感

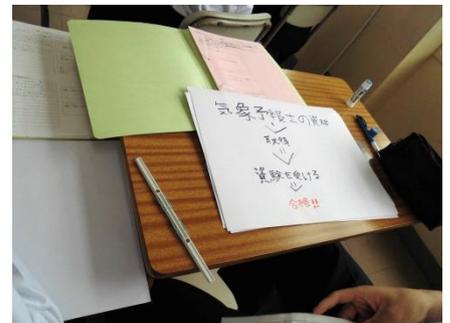
## 期待される生徒の変容

生徒たちは、職業について多くを知らないし、知っていても自分の興味のある範囲の職業や単なる憧れで留まっている場合が少なくない。本単元では、「運命の本」として、あえて生徒の興味の対象外の本と向き合わせ、その本の中の人物の生き方を職業という視点から深く読み取らせたい。また、ビブリオトークを通して交流させることで、職業観を広げ、深めあうとともに思考・表現力の向上が期待される。さらに、本の中に「起業家」のものをいれることで、夏季休暇中の職業体験や2学期の起業企画 PROJECT への事前指導としての効果も期待できる。

## 平成27年度の取組より

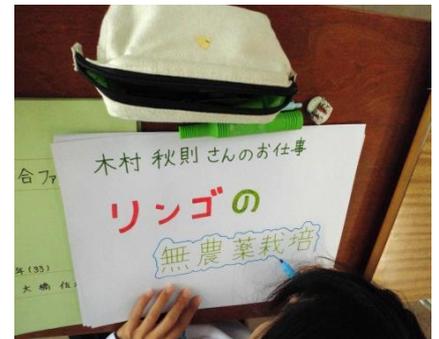
## 【H27年度の初発の生徒の振り返りより】

- ・社会の中にはどんな仕事があるのか、自分ではよく分かっていないなと思いました。
- ・自分の親の仕事についてもまだ話を聞いたことがないので、自分で調べられるのか不安です。
- ・よく分からない仕事の本を選んでしまったので、おもしろくないかなと思います。
- ・自分が将来どんな仕事をしたいかまだはっきりとは分からないので、起業企画もできるか自信がありません。
- ・自分も野球に関わる仕事がしたいので、用具係がどんな仕事か調べてみたいです。

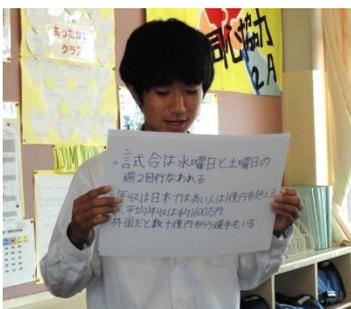


## 【H27年度のビブリオトーク終了後の生徒の振り返りより】

- ・どんな作業でも1人でやるのではなく、いろんな人の協力で成り立っているのが分かった。みんなで協力することが必要だと思いました。
- ・仕事を頑張るには笑顔とコミュニケーション能力が必要であることがわかった。
- ・たくさん失敗したりしても、努力を続けていたら成功できるということを学んだ。
- ・活躍できる人がいるのは、裏方の人たちの支えによって成り立たないのだということが分かりました。
- ・お客さまのことを第一に考え、お客さまを喜ばせるためにいろいろな工夫をしているということを知りました。
- ・仕事をする上で、人との信頼関係が一番大切だということが分かりました。



## 平成28年度指導計画・ワークシートの改善のポイント



- ・平成27年度は、「起業企画を成功させるために必要な力はどんなことか」という挑戦問題を提示したため、上記のような振り返りとなった。次年度は、「職種やその魅力」に着目した挑戦問題に変更し、この単元を通して、生徒の職業観の育成とともに大きな達成感を味わわせたい。
- ・職業の魅力だけでなく、どんな難しさがあっても、その困難をどう乗り越えたかなどについてもじっくり読み取らせたい。
- ・聴く人に伝わりやすくするために、フリップを工夫して作成させ、発表の際に用いることはよかったため、次年度も継続する。

# 4 付録

## (1) その他の教科の取組

(社会・理科・音楽・英語)

## (2) 総合的な学習の時間の

その他の単元の取組

## 「FOR THE NEXT STEP」

挑戦問題

『みんなによるみんなのための道探し』

本単元で育成する資質・能力

情報収集能力 思考力・表現力 協働的な態度 挑戦心・探究心

## 期待される生徒の変容

よりよい生き方探しに向け、仲間と協働して情報収集・整理分析することを通して進路に対する視野を広げることが期待できる。また、得られた情報を保護者やクラスメートへの報告会等を通して共有し、それぞれの進路選択に向けての自立的な態度と支援的環境を向上させる効果も期待できる。

## 平成27年度の取組より

## 【初発の生徒の振り返りより】

- ・自分の志望校でなかったら、調べたりその学校を訪問したりする意味がないと思います。
- ・誰もその学校へ進学しないかもしれないのに、わざわざ高校の先生に来てもらうのは申し訳ないし、時間の無駄だと思います。



## 【研究終了後の生徒の振り返りより】

- ・多くの進路先について学習したことは、自分が選択した以外の進路のことを知ることに役立った。
- ・最初はあまりいい印象ではなかった学校も、説明を聞くと、今までのイメージとは全く違ったり、逆にその学校に行きたいと思うような学校がたくさんあった。
- ・学校説明会では、インターネットや学校紹介パンフレットに書いてあること以外のことを質問でき、進路先のことを深く知ることになった。
- ・いろいろな学校のオープンスクールに参加することで、実際の通学距離や時間、校風などを自分の肌で感じることで、進路先の選択にとって学校訪問はとても大切なことだと思う。



## 平成28年度指導計画・ワークシート改善のポイント



- ・ワークシートづくりが十分にできていなかったため、学習の流れとゴールが見える学習展開にならなかった。
- ・平成27年度は「情報収集」には意欲的に取り組んだが、「情報の発信」に対する意欲に課題があった。次年度は、ルーブリックをワークシートで生徒と共有することにより、学習活動の視点や意義を理解させたうえで、本単元に取り組ませたい。
- ・「生徒による進路説明会」やオープンスクール後の「1分間スピーチ」の充実を図るため、学年通信や進路通信で取組内容を発信したり、生徒による相互評価の場面を設定する。

## 復習課題としての挑戦問題（社会科）の実践例について

社会科 浦上 晋次

今年度、本校では生徒に日々の授業で学習した内容を活用し、自ら進んで様々な課題に挑戦しているという取り組みをしている。これを「挑戦問題」と位置づけている。社会科の授業でも試行錯誤しながら検討している。今回は冬休みの課題として出題した挑戦問題の取り組みを一部取り上げてみる。

### 1 本校と本学級の特徴

- 本学級の生徒は小学校の社会科でICTを活用した学習を行っており、社会科の宿題として歴史上の人物を調べたり、授業で出た疑問点をインターネットなどを使って調べたりするなどを行っており、インターネットの活用慣れている生徒が多くいる。
- 本校は学年1クラスの3クラスで各クラス20名前後の小規模校である。各クラスに4社分の新聞を配布し、この新聞を活用して各クラス2名の生徒が、読んだ新聞の中から興味を持った内容の部分を切り取り、感想を交えて提出するという取り組みをしている。

### 2 取組の概要

- 「世界の国や地域の中であなたが疑問に思っていることを新聞形式でまとめましょう。」という挑戦問題を冬休みの課題として提示した。
- まとめ方
  - ・まとめ方はB4の方眼紙を使う。
  - ・テーマについては授業内容だけでなく新聞の切り抜きやテレビの番組などで疑問に思ったことなど何でもよい。
  - ・テーマは、「なぜ」○○なのかという方法ではじめる。
  - ・「なぜ」に対して自分の予想を立てる。
  - ・調査した内容をまとめる。
  - ・最後に今回の学習に関する感想を書く。

### 3 生徒の感想より

「ぼくはサッカーを見ていて、なぜブラジルやアルゼンチンは強いのかと思いました。今回調べてみて、理由が分かりました。日本がもっと強くなるためにはどうすればよいのかという疑問もあるので、これも調べておきたいです。」

「私は、初めはバナナについて全然知りませんでした。いつもお店でバナナ見て、どうしてフィリピン産が多いのか不思議に思っていました。圧倒的にフィリピンの生産量が多いことが分かりました。」

「この宿題でちょっとした疑問が解決できた。・・・今度は違う課題で調べてみたい」

### 4 成果と課題

#### (1) 成果

- テーマを普段から疑問に思っていることと大きくしたため、様々な視点から調査を行うことができ、多くの生徒が楽しかったという感想を持っていた。
- 冬休み中にパソコン室を使用する機会を作ったため、テーマ等の設定ができていない生徒にアドバイスすることができた。

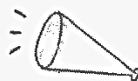
#### (2) 課題

- 今回は、世界の地理の最後に行ったが、新聞の取り組みを早い段階で行い、実際の授業の中で、生徒が調べた内容を発表したり、授業で資料として使うことができれば生徒の達成感も高まると考えられる。
- もう少し時間を取って、丁寧な説明をすればよかった。

# HOLLYWOOD A

はなぜアメリカにあるのか？

**予想** アメリカはなんでもあり、技術もすぐれているから、アメリカでハリウッドが生まれたと思う。また、トップスターや外国の方からよく人が来られているからだと思う。



## 調べた事

- まず、ハリウッドは最初から映画の中心地だった訳ではない。
- もともとアメリカにおいて、映画の中心地は東海岸のニューヨークだった。
- アメリカ社会の実権を握っていたのが、ニューヨークに住むプロテスタント系の白人たちから。  
しかし、(映画の実権を握る人々が)映画上映の度に金を払うよう求めたので、これに参加しない映画関係者はニューヨークとシカゴを離れ1910年代、ハリウッドが映画の中心地として形成されていった。
- そして、ハリウッドが映画で栄えるようになったのは20世紀初め。
- アメリカ映画は年間製作本数の面でも1本の製作費の面でも世界で最も規模が大きい。
- ロサンゼルスは大部分が温帯の地中海性気候で、1年中暖かく湿気が少ない。
- 冬の1時期を除きほとんど雨が降らない環境が最適だった。  
また、年間降水量は約300mmで、東京の年間降水量に比べると、5分の1ほど。
- しかし、ハリウッドが映画の都と呼ばれたのは既に過去の話となっている。  
現在では、ノースカロライナやニューメキシコにおかり地味をうばわれてしまっている。



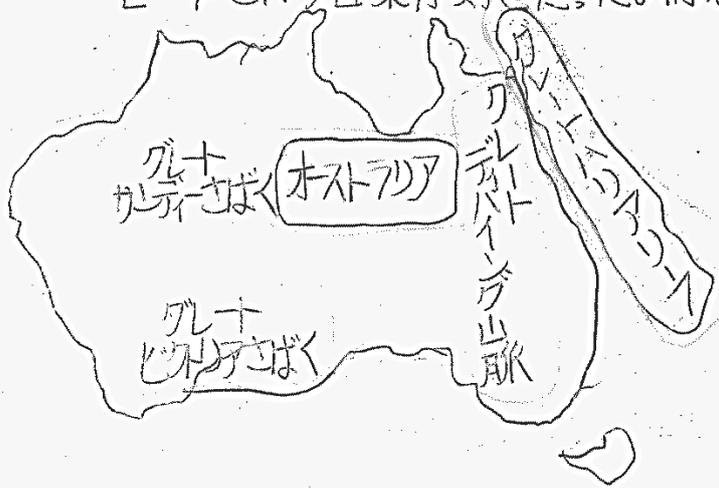
## 感想

私はハリウッドやロサンゼルスに行くことが夢なので、ハリウッドについて調べてみました。ハリウッドが最初から映画の中心地だった訳ではないことを知ってびっくりしました。ハリウッドがロサンゼルスになったのは、気候が良く、撮映をするのに最も最適で、そしてあらゆる自然の風景や自然だけではなくロサンゼルスやサンフランシスコというタイプの異なる都会があるからだと思います。

だけど、今はもうハリウッドで映画が栄えているのは過去のはなしになっています。なので、またハリウッドが映画の中心地になってほしいなと思います。

オーストラリアの山や海にはなぜ「グレート」がつくのか？

**予想** …ぼくはオーストラリアの山や海にはなぜ「グレート」がつくのかに対してぼくの予想は「オーストラリア人はグレートという言葉が好きだ、たのかな」と思いました。



**結果** 「オーストラリアの山や海にはなぜグレートがつくのか？」についての結果これです。

オーストラリアの初其地帯住者の多くはイギリス人です。もともとイギリスは小さな島国、山はないもちろん亜熱帯の美しい海もあります。そしてグレートは大きい、偉大などという意味です。日本だと「大阪」「大分」「大里」「大竹」「大木」「大杉」「大山」「大林」「大袋」「大澤」「大相模」など大の字ものはたくさんあります。小さな島国に住んでいたイギリス人が、グレートバリアリーフなどの海や山を見たら当然ビックリすると思います。だからグレートバリアリーフ・グレートディバイング山脈・グレートビクトリアサバクなど「グレート」をつけたと考えられているそうです。

**感想**

ぼくの予想とはちがってオーストラリアの「グレート」にはちゃんと意味がある人だと思えました。今まではオーストラリアの「グレート」のことについて何にも感心がなく目をつけてもいませんでした。ただこの言葉を知ることによってオーストラリアのことについて興味を持つことができました。予想は違いましたが良かったです。

## 理科の挑戦問題について

理科 海切 健次

理科では、生徒自身が課題を設定し、解決していきたいと思えるような「挑戦問題」を開発・研究している。この「挑戦問題」から課題を設定し、解決していくまでの過程で、生徒は課題を「自分事」として捉え、学習意欲を持って取り組み、さらにその中で、思考力や表現力、挑戦心や探究心が育つものと考えている。そこで理科で実践した3つの事例を紹介する。

### 1 学年 単元 「物質の密度」

#### 挑戦問題「このネックレスは、本物の金かどうかわからない」

これまでの授業は、密度の考え方や計算方法を学習した後、3種類（鉄、銅、アルミニウム）の実験用の金属の直方体を見せ、質量と体積を測定することで、何の金属かを調べさせる。生徒は、ある程度の興味をもって取り組むが、実験用の金属直方体では、自分事としてとらえないし、挑戦心も高まらない。そこで、「妻へのプレゼントで30万円の金のネックレスを買ったのだけど、妻に「本物の金なの？」と疑われてしまった。本物の金かどうかわからなくて困っているのだが、，，。」と「挑戦問題」と「ネックレス」を提示する。生徒たちは、「本物の金だろうか？」と疑問を持ち、「どうすれば調べられるか」とか「調べてみたい」など、学習意欲を持つようになる。そして、この挑戦問題を解決するための学習を始めていく。密度の概念や密度が物質によって決まっていることなどを学んだ後、実際にネックレスの質量と体積を測定して密度を出し、本物の金かどうかを調べる。生徒たちは目を輝かせながら実験をする。

### 1 学年 単元 「物質の性質」

#### 挑戦問題「ラベルをつけ忘れて困っている」

教科書では、食塩、砂糖、片栗粉のいずれかである物質Xを判別するという内容になっている。このままでもある程度の興味は高めることができるが、やはり、課題を自分事としてとらえにくいと考え、教師がこのような挑戦課題を提示した。生徒たちは、「何とかできないだろうか」とか「どうすれば分かるだろうか」という気持ちになる。生徒は前時までの学習で、金属やプラスチックの性質を調べる実験を行っており、物質には特有の性質があり、それを調べることによりその物質が何であるか判別することができることを習得している。このことを活用して、物質を区別するための見通しを立て、意欲を持って課題解決を進めていくことができる。

### 1 学年 単元 「光の性質」

#### 挑戦問題「直進するはずの光が曲がる？」

小学3年生では、「光は直進する」と学習している。そこで、レーザー光で色をつけた噴水が左右に動く映像を見せる。光が曲がるという既習事項を覆すこの現象がなぜ起こるのかという疑問を生徒に持たせる。その理由について生徒に予想をさせるが、これまでの知識では解明できないことに気づく。そして、この現象を科学的に解明するために学習していこうと「光」の学習をスタートさせる。このことにより、学習する目的や課題解決への意欲を持たせ、主体的な学習を進めていくことができるようになる。

実践事例①「物質の密度」(中学校1年)

目標：密度を調べることにより、その物質が何であるかを知ることができる。

これまでの授業

金属(鉄・銅・アルミニウム)の密度を調べ、物質が何であるかを調べる。

①密度の考え方や計算方法を学習する。(体積と質量から計算する) 課題を自分事としてとらえられない

②実験する。(実験用の金属の直方体)

③結果をまとめて、金属が何であるかを知る。 挑戦心をくすぐらない

これまでの授業展開

実践事例「物質の密度」(中学校1年理科)

**挑戦問題** 本物の金かどうかわからない!

**課題発見→課題設定** 本物の金なのだろうか? 調べてみたい。どうすればいい?

**習得** 密度についての基礎知識を得る。

**活用** 密度で金属の種類を見分けることができる!

**問題解決** ネックレスが本物の金かどうか実験を通して解決する

学びがい 自己効力感

改善した授業展開

実践事例②「物質の性質」(中学校1年)

目標：物質には特有の性質があり、その性質の違いを調べることにより、物質が何であるかを区別することができる。

これまでの授業

謎の物質X(食塩、砂糖、かたくり粉のいずれか)が何であるかを調べるにはどうすればよいだろうか?

①区別する方法を考える。(手ざわり、水への溶解、燃えるか)

②実験する。

③結果をまとめ、謎の物質Xを判別する。

課題を自分事としてとらえられない 挑戦心をくすぐらない

**挑戦問題** ラベルのつけ忘れ

食塩、かたくり粉、砂糖の入れ物にラベルをつけ忘れて困っている。みんなに判別してほしい。できるか?



簡単に解決できそうならば、工夫して難易度を上げてやることで、挑戦心を駆り立てる

生徒の挑戦心を“くすぐる”ための工夫も必要

**工夫①** 食塩、砂糖は、ミルでさらに細かな粉末にしておく(手ざわりでは分からないようにする。砂糖と食塩の区別は結構難しい)

**工夫②** 水に溶かすのも、燃やすのもそれぞれ1種類だけ。 活用

①鏡による光の反射(反射の法則) 3時間

説明できるか? 習得・活用 → できない

②ガラスによる光の屈折(屈折のみ) 2時間

説明できるか? 習得・活用 → できない

③ガラスによる光の屈折(全反射) 1時間

説明できるか? 習得・活用 → できるかも?

毎授業の終わりに、挑戦問題が解決できるかどうかを生徒に考えさせる。

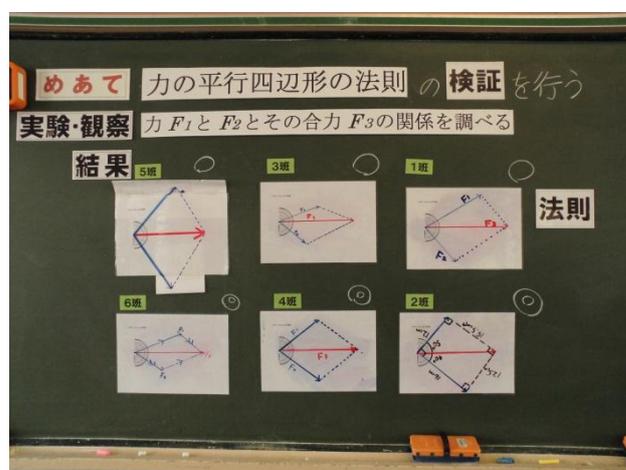
## 挑戦問題

「お年寄りの荷物を二人で持つとき、  
さりげなく相手よりも大きな力で荷物を持つためにはどうすればいいか」

力のつり合いの条件や合成・分解について説明することができ、お年寄りの荷物を二人で持つとき、相手よりも大きな力で荷物を持つための方法について、根拠を基に説明できることをねらった。また、身の回りにある様々な事物・現象に気づき、力学の視点から根拠をもって説明したり、ものづくりを提案することもねらった。

### 【初発の生徒の振り返りより】

- ・  $F_1$  と  $F_2$  の合力  $F_3$  は、 $F_1$  と  $F_2$  を二辺とする平行四辺形になるが、自分の班の実験では誤差が大きく、平行四辺形には見えなかった。何がいけなかったのかを考えたいです。
- ・ 2力が、物体からの向きも、力の大きさも違うときは、和でも差でも求められないので難しいと思った。しかし検証実験から、2力から平行四辺形をかけばすぐに求めることができるということがわかったので、次からは、力に関するどんな問題でも解けるようにしたいです。



### 【単元終了後の生徒の振り返りより】

- ・ 1つの荷物を二人で持つとき、荷物との角度を小さくすると自分にかかる力が大きくなり、荷物との角度を大きくすると自分にかかる力が小さくなるということがわかりました。だから、お年寄りより、持つ角度を小さくすれば相手よりも大きな力で荷物を持てることがわかりました。
- ・ 包丁の刃がごつい方が見た目的に切れ味が良さそうだけど、同じ力の分力作図して比較したら、うすい包丁の方が圧倒的に大きな力が物体にはたらき切れ味が良いので、驚きました。
- ・ 身の回りには、意外なところに力の分解が関係しているということがわかりました。特にロープウェイのロープを緩く張る理由を今まで全く考えもつきませんでした。

### ワークシート改善のポイント

- ・ ワークシートが実験データを整理するだけで、十分ではなかった。今後は各単元でつきたい資質・能力を生徒と共有することができるワークシートを開発したい。
- ・ 「力の平行四辺形の法則」の実験で、器具の取り扱いに課題があったので、正確なデータを集めることが難しかった。摩擦の視点や意義を理解させたうえで、本単元に取り組みさせたい。

## 音楽科の挑戦問題の実践例について

音楽科 荒木 真由子

音楽科では、挑戦問題として、授業の中で得た知識やスキルを応用しつつ、使いこなすことを求めるパフォーマンス課題を位置づけ、生徒に取り組みさせることで思考・表現力および挑戦心・探求心を身につけさせたいと考えている。思考の過程を表現させる課題や、言葉や図、絵などさまざまな方法を自由に用い、自分なりに考え、表現させる挑戦問題に取り組みさせたのでその作品例を紹介する。指導上の留意点として、学習内容から大きく外れないようにするため、生徒にはそれぞれ次のような評価基準を事前に提示した。

### 1 学年 題材 [魔王] 挑戦問題「魔王のPOPをつくろう」

シューベルト作曲の「魔王」を通して、「音楽を形づくっている要素の働きと効果を知覚し、楽曲の雰囲気や曲想を感じ取ること、詩の内容をよく理解し、場面を想像しながら聴くことができる」ということを目標に授業展開した。生徒には単元末のパフォーマンス課題として、「CDショップの店員さんになって、POPを作ろう」と提示した。

#### <評価基準について>

- ・楽曲の中で工夫されているポイント(音楽の要素)を書いている。
- ・作曲者について書かれていること。購入する人が、この曲を聴いてみたいと思えるような工夫をしている(イラストや色を使う)。

### 2 学年 題材[アルトリコーダー]挑戦問題 「すてきなメロディーの作曲・演奏に挑戦」

今回の授業での目標として、「アルトリコーダーの音色や基礎的な奏法に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組む」ということを目標に授業展開を行った。

既習曲の練習からリズムパターンを練習し、挑戦課題として、4分の4拍子・ハ長調で8小節のメロディーを完成させることとした。また、実技テストについては、自らが作曲したものを実技試験とした。

#### <評価基準について>

- ・4分の4拍子という規則を理解し楽譜を書いている。
- ・使用する音符が、2種類以上であること
- ・ハ長調という規則を理解し楽譜を書いている。

### 3 学年 題材 [ブルタバ] 挑戦問題「ブルタバ川を表現してみよう」

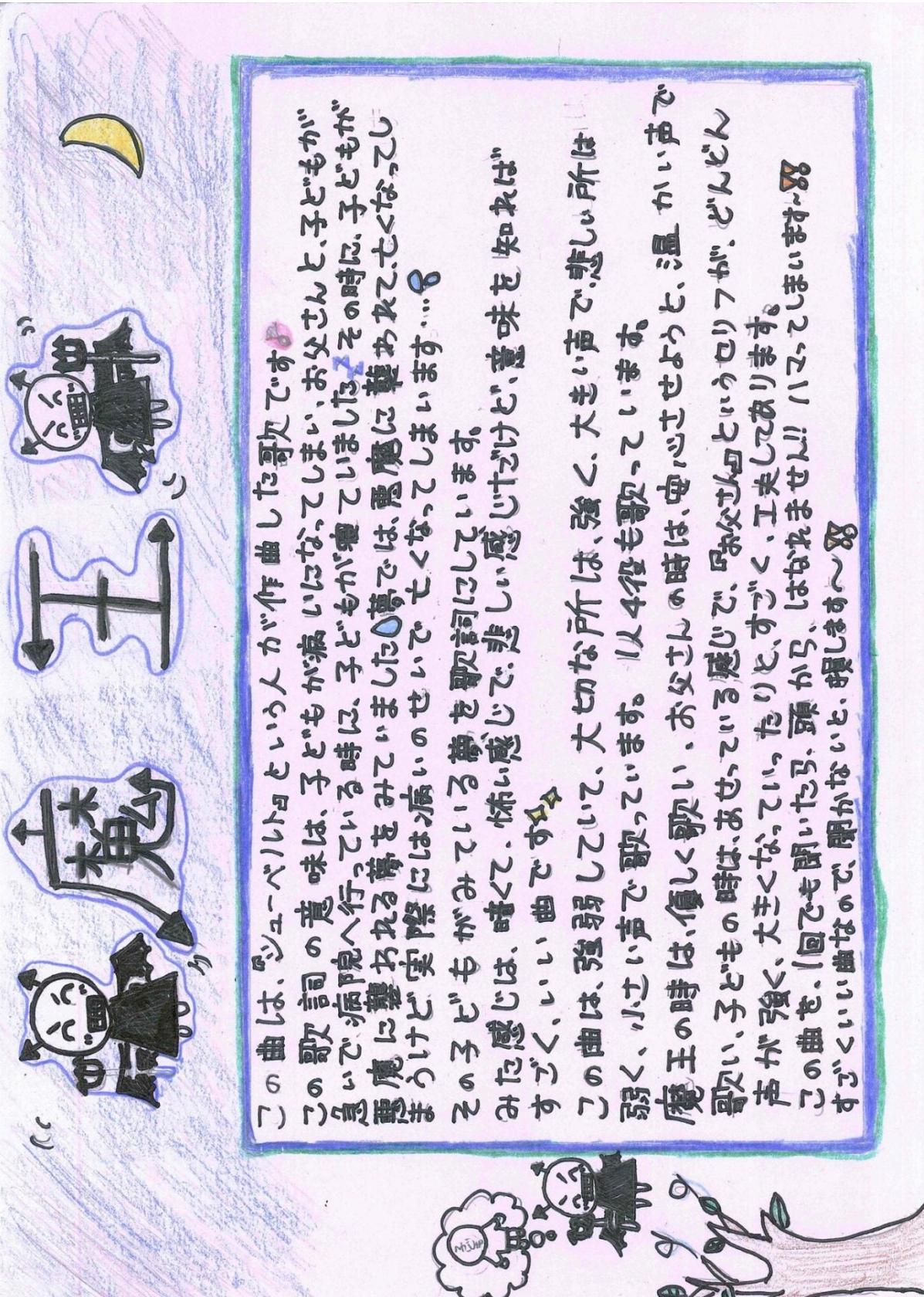
スメタナ作曲の「ブルタバ」を通して、「楽器の音色、旋律の動き、調性の変化、楽器の旋律の組み合わせ方、速度の変化や構造を知覚・感受し、標題と結び付けること、また音楽を形づくっている要素や構造と曲想の関わりを理解して解釈すること」を目標に授業展開した。

生徒にパフォーマンス課題として、「作曲者スメタナの見ていたブルタバ川はどんな川だったのか、自分が感じ取った川を表現してみよう」と提示した。

#### <評価基準について>

- ・各部分の標題が、どのような楽器でどのように表現されているか要素を用いて説明している。
- ・作曲者の込めた思いを解釈し、根拠をもって批評している。
- ・ブルタバがどんな川だったのか、図や絵を用いて表現している。

<パフォーマンス課題例1> 「魔王の紹介POP」例1



この曲は、『シュベルト』という人が作曲した歌です。

この歌詞の意味は、子どもが病いになてしまい、お父さんと、子どもが急いで病院へ行っている時に、子どもが寝てしまった。その時に、子どもが悪魔に襲われる夢をみてしまった。夢では、悪魔に襲われて、七くなくなってしまうけど、実際には病いのせいで七くなくなってしまう。...

その子どもがみている夢を歌詞にしています。

みた感じは、暗くて、怖い感じで、悲しい感じけど、意味を知らず、すごく、いい曲です。

この曲は、強弱していて、大切な所は、強く、大きい声で、悲しい所は弱く、小さい声で歌っています。1人4役も歌っています。

魔王の時は、優しく歌い、お父さんの時は、安心せよと、温かい声で歌い、子どもの時は、あせっている感じで、『お父さん』というセリフが、どんどん声が強く、大きくなって、たりと、すごく、工夫してあります。

この曲せ、1回でも聞いたら、頭から、はなれません! ハマってしまいます。...

すごくいい曲なので、聞かないと、損します。...

<パフォーマンス課題> 「魔王の紹介 POP」 例2

この曲は、  
オーストリアのシューベルトと言う人物と  
ドイツのゲーテと言う人物が作詞作曲しました。  
魔王はシューベルトが18歳のときゲーテが書いた魔王  
と言う詞を目にすぐさま曲を作り上げたと  
言われています。

魔王は、「語り手」「子」「魔王」「父」の4つに分けていて  
それぞれ違った工夫や特徴があります。何れは...  
子が父に訴えている場面がやり、子が訴えるごとに音が「首すく  
高くなり」焦りを表したりしています。少し怖いイメージのあるこの魔王  
には面白さがあります。何れは...  
それは長調と短調です。  
普通1つの曲に長調か短調 なのですが魔王では用いられたり♪

2つとも

皆さんぜひ聞いてみてくださいね♡♡



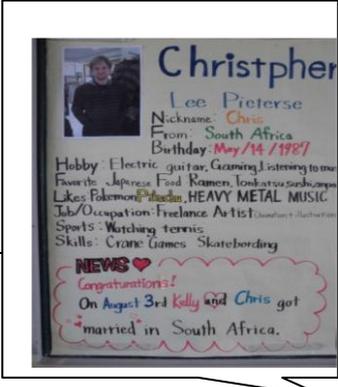




## 英語科の挑戦問題の実践例について

英語科 廣澤 良美

英語科では、授業の中で得た知識や表現を応用し、挑戦問題として AUTHENTICITY のある場面を設定することで、生徒に挑戦心・探求心を身につけさせたいと考えている。そこで、これまでのALTとのインタビューテストやパフォーマンス課題に加え、日本語を理解できない外国に在住する人とのコミュニケーション活動を取り入れ、言いたいことを英語で表現しなければならない状況での課題を段階的に設定した。その過程を通して英語への関心・意欲を高めるとともに、英語で表現しコミュニケーションすることの楽しさを実感できるような取り組みにしている。

場面設定	第1学年	第2学年	第3学年
ALT の婚約者を知る。		<p>放課後、代表生徒でテレビ電話(skype)を利用し、ALTの婚約者(南アフリカ在住者)にインタビュー→外国在住の人とコミュニケーションする機会を知るとともに英語の必要性を学ぶ。</p> 	<p>インタビューした生徒たちで婚約者のプロフィールを作成→他の生徒への関心を高めるとともにリーダーとして活動させる。</p>
ALT の結婚や婚約者を紹介する。	<p>インタビューした代表生徒たちによるプロフィールを使つての各学年への婚約者紹介</p>	<p>第1学年の既習事項確認</p>	<p>復習と連語表現</p>
ALT の結婚を祝う。	<p>結婚祝福メッセージとダンスのビデオレター贈答→お祝いの言葉を知る。</p> 	<p>ほんと？うそ？日本の結婚に関するクイズで南アフリカの結婚と比較「お祝いパーティー」開催→must, mustn't, don't have to を使ってクイズを作る。結婚に関する文化の違いを知る。</p>	<p>お祝いカード作成→カードの書き方を知る。</p> 
配偶者を学校(狂言鑑賞)に招待する。	<p>自分たちの学校生活を写真で紹介→School in the USA の紹介を参考に、現在進行形を使つたり、行事や授業の様子を説明したりする。落語や箏・尺八等</p> 	<p>自分たちのまちを紹介・狂言(附子)劇→学校や地域のこと・呉の名物・観光スポット・ALT 夫妻が楽しめそうな観光地を案内する。事前のインタビューから得</p>	<p>代表者が招待状作成</p> 

の日本文化に触れる機会があることを伝える。



た情報をもとに、There is(are)～, be famous for～, enjoy ~ing 等既習事項を使い、写真や実物を見せながら工夫して説明する。以前行った A Pot of Poison (附子) 劇のパフォーマンステストの高得点者4人が『附子』を紹介し、午後の日本語で行われる狂言を楽しんでもらえるようにする。



日本文化を紹介→生徒が紹介したいと挙げた日本文化を ALT と精選し、実物や実演を入れて紹介し、実際に触れたり挑戦したりして楽しんでもらう工夫をする。



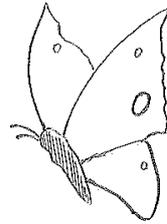
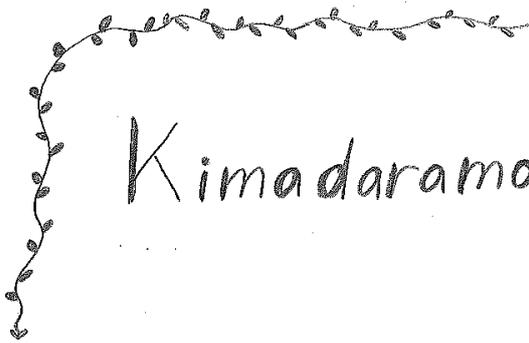
訪問のお礼と情報をまとめて贈る。

学校のHP制作→紹介に使った写真から何枚かを選び、各自でHP原稿を作成する。

パンフレット制作→各自が担当した紹介をまとめて編集する。

冊子制作, 礼状→各自が説明した日本文化についてまとめる。手紙の書き方を理解する。

<p>事後の感想・反省を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真をよく見えるようにして説明できて良かった。</li> <li>・色々質問できて良かった。</li> <li>・とても緊張した。</li> <li>・他の国の話を聞くことができ、発表しているときにはうなずいてくれて良い経験になった。</li> <li>・日本のことを知ってもらえて良かった。</li> <li>・会話できて楽しかった。</li> <li>・また来てほしい。</li> <li>・聞き取れない部分があったので、聞き取れるようになりたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで協力して文を訳したり，考えたり，覚えたりして紹介できたので良かった。</li> <li>・伝えたいことを自分たちで英語にするのはとても大変だったけど，スラスラ発表できて良かった。当日はALT夫妻が楽しそうに聞いてくれてうれしかった。自分も知らなかった呉の魅力を発見できた。</li> <li>・お勧めの場所へ一人でも行けるように工夫して文章を作った。わかりやすいように間をとりながら紹介した。</li> <li>・色々練習を頑張って全部見ずに言えて良かったし，楽しかった。</li> <li>・英語しかわからない人にわかりやすく説明するのは大変だった。良い発音で言えるか日頃の授業でやっておけば良かった。</li> <li>・日本語がわからない外国人のために英文を考えて準備するのは楽しかった。またこういう機会があればいいと思った。</li> <li>・英語で紹介できても，質問などをされると速くて聞き取れなかったことがあるので，もっとどんな文章でも聞けるよう勉強しようと思った。</li> <li>・外国のことなどたくさんを知ることになった。また来てもらえるなら，逆に南アフリカの国のことを教えてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の顔を見ながら話し，身振り手振りを入れて伝えることができた。</li> <li>・緊張して目が泳いだり，文章を思い出すのに間があいてしまったり，質問に答えられなかった。</li> <li>・「あなたもやりますか」と尋ねれば良かった。</li> <li>・もっと発音よく説明できれば良かった。</li> <li>・今の時期に合う内容も付け加えれば良かった。</li> </ul>
---------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



# Kimadaramodoki

This is a rare butterfly called "Kimadaramodoki."

You can see it only in this area.

Have you ever seen it?

But many Kimadaramodoki live in Mt. Tsubuyama.

That mountain is Mt. Tsubuyama.

We can see them in summer.

You should walk around there to see

Kimadaramodoki in summer.

Don't miss a golden opportunity to see it  
while you live in Kure.

Can you say its name?

これは珍しいチョウで、「キマダラモドキ」といいます。

これはこの地域でしか見られません。見たことはありますか？

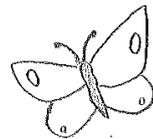
ですが、キマダラモドキは沢山つぶ山に生息しています。

あの山がつぶ山です。夏に見る事が出来ます。

ぜひ夏にキマダラモドキを見に、この周辺を散策してみ  
下さい。あなたが呉に住んでいる間にそれを見る貴重な

機会を逃さないで下さい。

あなたはその名前を言えますか？



We will introduce Melon-pan.

All the Japanese people know the bread.

We can get one in each convenience store.

Melon-pan

But we can get in Kure is quite different.

Its shape is like a rugby ball.

There is a lot of custard cream in this Melon-pan.

It is 147 yen.

I heard you like Anpan.

These are big Anpans.

Koshian paste and Oguraan.

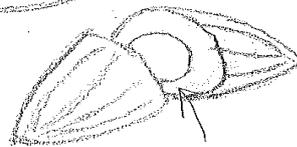
Are you hungry now?

This is it.

Let's eat it together.

Melon-pan

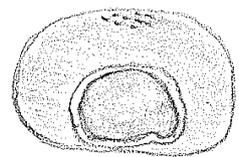
rugby ball



custard cream



Oguraan



Koshian

しかし和達のメロンパンは全く違います。

ラグビーボールのような形をしています。

このメロンパンの中には、たくさんのカスタードクリームが入っています。

147円です。

私はあなたがあんぱんが好きだと聞きました。

こちらは大きいあんぱんです。

こしあんとおぐらあんがあります。

あなたは今、お腹すいていますか？

みんな食べてみましょう。

## A Legend And "Watashibune" Of Ondo

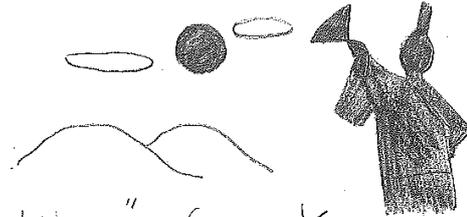
### <Taira no Kiyomori>

There is a legend of Taira no Kiyomori.

They say Kiyomori returned the setting sun with a fan.

You can visit the statue of Taira no Kiyomori in "Takagarasu - dai."

Please visit it!



### <Watashibune>

There is a boat "Watashibune" from Kegoya to Ondo.

This is the way to cross the sea "Ondo no Seto".

You can get on a boat and enjoy the beautiful views on the boat for 3 minutes.

### <平清盛>

音戸には平清盛の伝説があります。

清盛は沈んでいく太陽を扇であおいで戻したと言われています。

あなたは、たかがらすだいで平清盛の像を訪れることができます。

ぜひ訪ねてみてください！

### <渡し舟>

警固屋から音戸までの渡し舟があります。

これは、音戸の瀬戸を渡る方法です。

あなたは、3分間、美しい景色を楽しみながら、舟に乗ることができます。

Do you know Unkai and Ishidaruma?

Do you know Unkai?

Unkai is a fog, a sea of clouds.

Miyoshi is famous for its sea of clouds.

But you can also see it in Mihara City.

The scenery is mysterious.

Kelly likes taking pictures.

Why don't you take some shots of Unkai?

Ishidaruma made of stone lies to the north of Mihara Station.

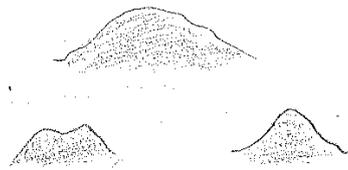
This is a symbol of Mihara.

And you can see the forth Big Daruma.

On second Sunday of February Mihara Shinmeirichi Festival is held.

The festival announcing the arrival of spring in the Sanyoji area attracts more than 200,000 people every year.

Hundreds of stalls are set up with a daruma market.



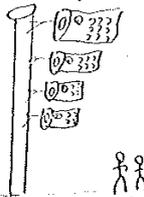
雲海を知っていますか。雲海は霧ができた雲の海です。雲海で有名なのは三次ですが三原でも見ることが出来ます。その景色はとても神秘的です。ケリー先生は写真を撮ることが好きです。雲海の写真撮るのはどうですか。石だるまが三原駅の南側にあります。これは三原のシンボルです。そして4番目に大きなダルマを見ることが出来ます。2月の第二日曜日に三原神明祭が催されます。その祭りは\_\_\_\_\_地域に春が来たことを知らせ、毎年200,000人以上の人々を引きつけます。百の屋台がダルマと共に立っています。

# Koinobori ~ Carp fish shaped streamer ~

presentation in 2/8

Merioka Haruto

Explore



In Japan May 5 is a national holiday called "Kodomo-no-hi" children's day. It has been a day to celebrate boy's health and happiness in contrast to Girls' Day March 3. To celebrate boys' health and success,

We put carp fish shaped streamer outside the house called "Koinobori". Carp fish go up in the river. So image of carpfish is good in Japan.

When a boy was born, his grand parents used to give him a set of streamer.

Recently each house doesn't have enough space to fly them. So there are some sizes. This is a small set.

Commonly the big black carp means father, the red means mother, the smaller blue or the other colors mean kids.

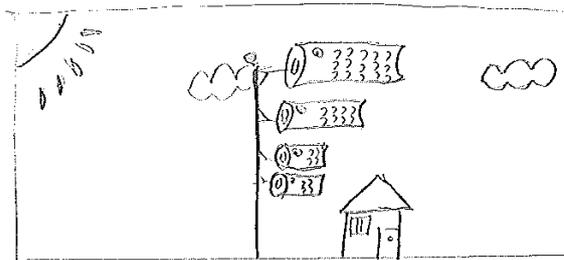
If you want to see many big carp streamer, I recommend "Kure Portpia Park during the golden week.

Japanese

日本では5月5日は「子供の日」という国民の休日です。それは女の子の健康や幸せを願う3月3日の女の子の日に対照に、男の子のそれを願う日であり続けています。健康と成長を願うものです。私たちは戸外に「鯉のぼり」という鯉の形をしたものを飾ります。鯉は川を逆上ります。だから日本では鯉のイメージは悪くありません。

男の子が生まれると、祖父はのぼりを彼のために使います。近年では、家に鯉のぼりをあげるスペースがありません。だから多くの大きさのものがある。これは小さいものだ。つまり大きくて、黒いのが父、赤いのが母、小さくて青や他の色をしているのが子供だ。

し、沢山の鯉のぼりを見たいのであれば、「呉ポートピアパーク」をおすすめします。ゴールデンウィークは見物です。



Color and size

the big and black ..... Father  
 the red ..... Mother  
 the smaller blue or other colors ..... Kids

# Dharma doll ~ Daruma ~

Sayaka Yamashita

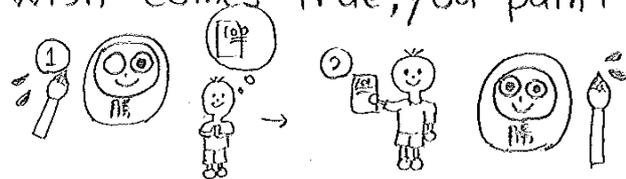
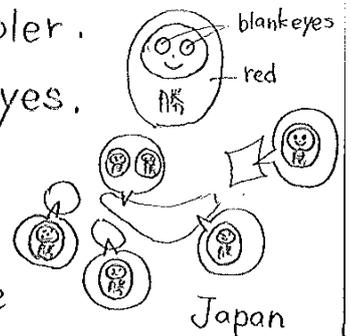
Daruma is Buddhism with religion. It is a round wooden good-luck doll. 

When it tumbles down, it always rises up. It used to be an ornament and a toy tumbler.

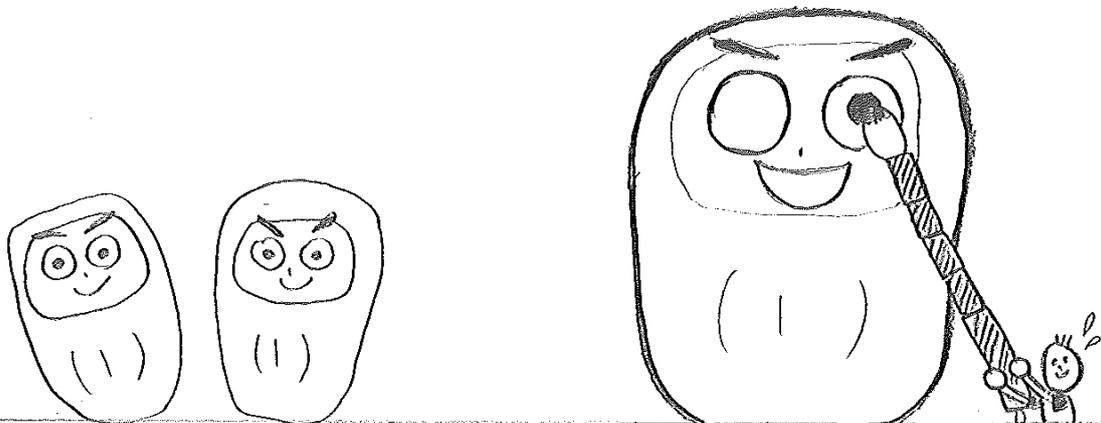
Most of them are red with blank eyes.

Daruma is different in each area.

First, you paint the daruma's left eye black, and when your wish comes true, you paint the right eye as well.



だるまは 仏教 という 宗教 です。  
 だるまは、木でできた 縁起物 です。  
 こが、こも、また おまじかります。置き物 やおまじかりに 使われます。男は赤く、目は空白に なります。  
 だるまは 地域 により、違、ります。  
 まが、だるまの 右目を 黒く ぬり、願、事が かな、たら、右目を ぬります。



# 総合的な学習の時間「落語に挑戦」について

## 第1学年部

### 1 はじめに

今年度、文化庁の芸術家派遣事業により「日本の古典芸能である『落語』に取り組むことを通して、衣装や小道具に頼らない表現の方法を学び、豊かな表現力を身に付ける」という目的で、県内で活躍されている熊野町在住の落語家の方に指導して頂いた。「じゅげむ」「動物園」「平林」「つる」の4演目を5人ずつのグループに別れ、練習を積んだ。生徒全員に発表の場を与え、その日に向けて全員が落語に取り組んでいった。

### 2 日程と内容について

7月 4日	「広南寄席」落語鑑賞 「落語のおもしろさ」について講演
7月	グループ別実技指導
9月	実技指導
10月	実技指導
10月	文化活動発表会 代表者4名による発表
10月	小学生の前で発表
11月	小坪地域文化祭で発表
12月	ふれあいサロンで発表
1月	くれしん新春爆笑寄席に出演



### 3 活動内容

#### ○文化活動発表会

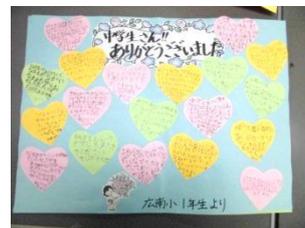
第1学年全員によるオーディションで選ばれた4名による発表を実施した。4名とも緊張した面持ちで舞台袖に控えていたが、いざ自分の順番が来ると、堂々とした態度で高座に上がり、精一杯の演技をした。



#### ○絆プロジェクト「小学生との交流」



朝の会の時間を利用して、6グループに分かれ、小学校1・2・3学年では「じゅげむ」と「動物園」、4・5・6学年では「平林」と「つる」を演じた。前日まで練習や準備などにグループごとに意欲的に取り組み、当日中学1年生は、楽しみに待っている小学生の姿を見て、気持ちを引き締めて高座に臨んだ。披露し終えた生徒は小学生の様子を見て、充実感に満ちた表情をしていた。事後には、小学生からのお礼の手紙に目を通しながら、「自信がなかったけれど、頑張ってよかった」と自信を深めたようだった。



#### ○小坪地域文化祭、長浜ふれあいサロン

地域の方々の前で落語を披露した。地域の方々の温かい声援を目の当たりにして、生徒たちは地域の方をより身近に感じることができ、地域社会の一員としての自分を感じ取ることができた。

#### ○くれしん新春爆笑寄席

落語の講師のご好意で、舞台に立つ機会を頂き、学校を代表して1名が呉市文化ホールの舞台に立った。

取り組み以前は、落語自体を見たことも無い生徒がたくさんおり、自分が演じ切れるか不安だった生徒も多かったが、徐々に文章を覚え、仕草も交えられるようになってくると、だんだん楽しさを理解し、取り組む姿勢が変わってきた。自分の発表の場が決まると、授業以外でも練習する生徒も見られた。それぞれの発表を終えて「楽しかった。やってよかった」と発言する生徒が多かった。

## 1 はじめに

今年度の総合的な学習の時間のテーマは「未知の世界を生き抜く力 ～知る つながる 貢献する～」となっている。「未知の世界」をキーワードに、今までにない挑戦をしていくために、いろいろな情報を「知る」、仲間や地域と「つながる」、そして、地域や社会に「貢献する」態度を養う。

2学年では、総合学習のメインとして、2学期に起業プロジェクトを立ち上げ、地域に貢献するための「起業」を行うこととする。夏休みの職場体験学習の貴重な経験や知識を基にして、2学期の起業プロジェクトに取り組む。

今回の起業プロジェクトに当たり、次のような条件を提示した。

### (1) 目的

- ①地域を盛り上げ、地域に貢献する。
- ②自分たちの将来の進路選択の1つとして起業を経験する。

### (2) 具体的な取り組み

- ①商品については、地域や保護者の方にも買ってもらうことを前提に、地域の方の協力を得ながら生徒ができるだけ作成する。
- ②ロゴやキャラクターなどは広南に関係したものを使う。
- ③簡単な会社組織を立ち上げ、リーダーを中心に全員が何かの役を責任を持ってやりきる。
- ④実際に起業した方からお話を聞き、起業に向けてのアドバイスをいただく。
- ⑤キャリアスタートウィークで会社運営に必要なノウハウや実際に商品になりそうなものを学んでくる
- ⑥利益については全額を寄付する。寄付先については全員で検討する。
- ⑦昨年の2年生（現3年生）が作製した「ロマンクッキー」は商品の1つとして販売する。

## 2 前期の総合的な学習の時間の枠組み

①起業するための心構えやノウハウを学ぶ  
 ビブリオトーク運命の本～職業編～  
 起業家に学ぶ  
 キャリアスタートウィーク

②起業するための実際の商品の準備や販売準備  
 日本文化講座＜製作活動＞  
 HMII活動＜出資金プレゼン・販売プレゼン等準備＞

起業プロジェクトを行うために、1学期に、ビブリオトーク運命の本～職業編～を行うことによって、働くことの本当の意味を見い出している本を読み、働く意義などを登場人物の人生を通して知り、働くために必要な人間としての資質とは何かを生徒自身で考える。次に、キャリアスタートウィークの活動を通して、働くことの厳しさ、他者のために自分がどのように動くのかを実体験する。これらの知識や経験を生かし、地域のために自分たちにできることは何かを考え、学級で討議しながら文化活動発表会での販売活動に向けて企画し実践していく流れとした。1学期の総合的な学習の時間の活動を縦に統合的につなげ、また、仲間と共に協働的に取り組めるよう横のつながりを意識した。

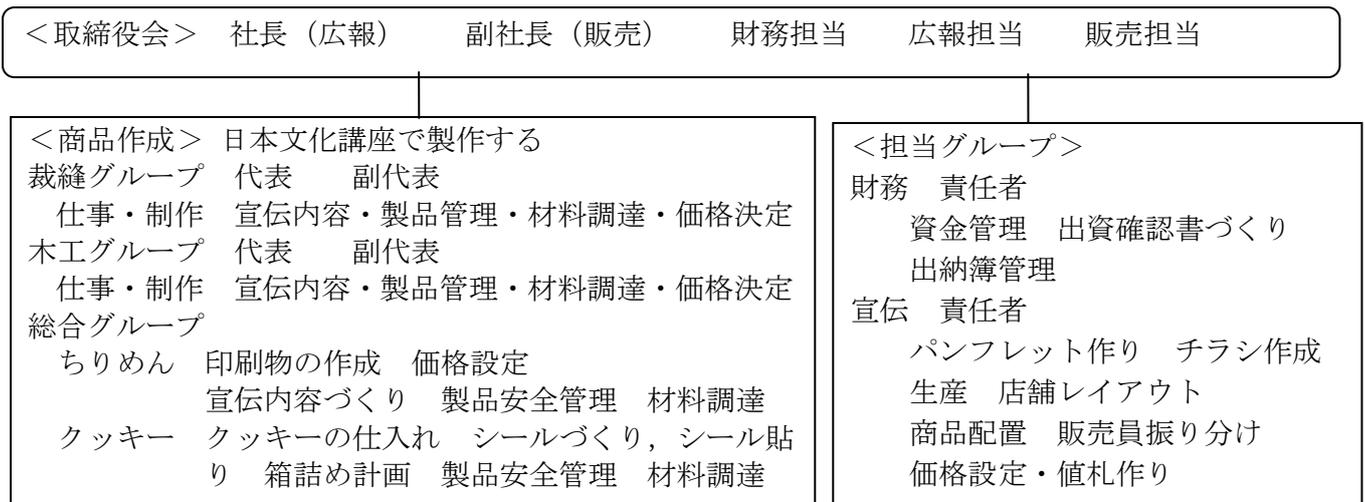
## 3 日程と内容について

4月	起業プロジェクトに向けたオリエンテーション・ビブリオトーク準備
5月	ビブリオトーク準備
6月	キャリアスタートウィーク準備等
7月4日	ビブリオトーク発表会・取締役役員投票
7月7日	起業家に学ぶ 取締役会会議 会社名・キャラクター選考・商品選考
8月20日～26日	キャリアスタートウィーク

8月	取締役会会議・学年組織編成・製品材料買付・もくりんさんデザイン化
	出資金プレゼン準備
9月	出資金プレゼン（広南小学校・広南中学校）、広報活動（地域回覧板・チラシ作成）、日本文化講座8回 製品作成・クッキー・ちりめん細工発注 もくりんさんしおり作成
10月	値段決定・販売ブース作成・販売練習・釣り銭準備等・販売プレゼン準備
10月17日	文化活動発表会 販売
その後	集計・募金

#### 4 HMIIの学級組織の編成

取締役を決め、販売をするために必要な仕事や役割を考えさせ、担当を決めた。



仕事を<商品作成>と<担当グループ>の二つの柱に分けるが、それぞれの部署に全員を配置するようにした。取締役がそれぞれの担当部署に所属し、それぞれの所属は別の責任者を立て、学級の半数の人数がそれぞれの担当部署の責任者になるよう配置した。

#### 5 会計について

出資金 ¥82,000    当日売り上げ¥116,300    経費¥156,222（材料費・出資金返金等）  
 ドイツ平和村・台風18号東日本災害へ寄付    ¥42,078

#### 6 生徒の振り返りより～抜粋～

- 夏休みから活動を開始して、キャラクターを作ったりプレゼンの準備をしたりすることが大変だったけど、やり遂げて達成感も味わうことができました。
- 木工グループや裁縫グループ、総合グループなどそれぞれの部署にわかれ準備をし、皆で協力して取り組めたと思います。
- 販売ブースで売れなかった商品も急遽食事コーナーに持って行って売ることになり、完売できてほっとしました。でも自分たちが作ったものを買ってもらえて良かったです。
- 地域の人に教えてもらった裁縫や木工づくりなどで、僕たちが一生懸命作ったり売ったりして、地域の人に買ってもらって、地域の町おこしのために行った起業企画でしたが、僕たちが地域の人とつながれて良かったなあと思いました。
- キャリアスタートウィークで学んだ接客の仕方などを生かして良かった。
- 販売の係では接客マニュアルなどを作ったり接客の練習をしたりして大変でしたが、楽しく活動できました。お金を自分たちだけで扱うことで緊張もしたけど、責任を持って仕事をすることができました。
- 起業企画を行うことで、皆とよりいっそう仲良くなれたと思いました。

1 取組の概要

広島国際大学薬学部の先生・学生さんの協力による 異年齢・同世代の仲間集団による学び合い  
 「大学生のお兄さん・お姉さん先生から学び、先生になって小学生に伝えよう！」

この活動は、8年生が「大学生のお兄さん・お姉さんから学び、それを小学生に伝えよう！」という活動で、自分たちが習ったことを自分の中で消化吸収し、それをわかりやすく3年生に伝えるという活動である。中学生は先生である大学生から学ぶ場面では「生徒」であるが、小学生に教える場面では「先生」になり、1人で両方の立場を経験することになる。教員が教えるのではなく、生徒主導の活動とすることで「大学生から教わり、小学生に教える中学生」も、「中学生から教わる小学生」も、共に健康意識が高まることを目的とする。

2 具体的な実践

中学生が大学生から「衛生」について学ぶ（風邪などの感染症予防の観点から）

- ・ どうして「手洗い・マスク・うがい」をすることが感染症予防においては必要なのか？
- ・ 正しい手洗いの仕方について教えてもらう

準備物 ブラックライト機器6台・ローション・石鹸・ゴミ箱・キッチンペーパー

初めにローションをつけて、水道でいつも通りの手洗いをする。その後、汚れの落ち具合を観察するために、各自がブラックライトを当てて確認する。プリントに記入する。汚れが残っている所を全員で確認する。その後、それを落とすために正しい手洗いを教えてもらう。その後そのやり方で手洗いをし、ブラックライトで確認する。

- ・ 正しいマスクの付け方、うがいの仕方を教えてもらう。
- ・ 事前に「風邪予防のためのクイズ」など、小学生へどう伝えるかを考え、練習し、最終的に3年生を招待し、2時間で自分たちの学びを伝える。

★事前事後を含めた効果を調べるためにプリテスト・ポストテスト・フォローアップテストを行い、また行動変容について調べるため、行動指標をとる。8年生・3年生の自己評定と教員による他者評定の二本立てで行う。学年末までかけて、効果の検証を行う事としている。



第1回目の取組が  
中国新聞 呉・東広島版へ掲載  
されました。



大学生による指導を受けました。



大学生に入ってもらい、小学生への分かりやすい伝え方について考えました。

## 総合的な学習の時間「世界貢献PROJECT」について

第3学年部

### 1 はじめに

よりよい世界づくりに向け、日本赤十字社から学んだことをもとに自分たちができる世界貢献について提言する創作劇づくりを通して、社会の担い手としての挑戦心と使命感を高めることを目的として取り組んだ。

### 2 日程と内容について

6月	青少年赤十字活動加入 今年度の生徒総会で「青少年赤十字活動」へ加入することを決議し、加入。
7月3日	道徳「海と空一極野の人々」学習 世界の中日本人としての自覚を持ち、国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献するために必要なことはなにかを考えた。
7月7日	日本赤十字社ゲストティーチャー招聘 「世界貢献をしている人に学ぶ」と題し、日本赤十字社の職員の方から赤十字創設の経緯や旗の種類、旗に記されているマークや模様の意味、活動内容について学んだ。  
7月中旬	アイデア・ストーミング 赤十字社から学んだことを、どのような形で発信するかについて議論した。道徳の時間で学習した「海と空一極野の人々」から、日本人のイラン脱出とエルトゥール号海難事故を題材にした創作劇で発信することに決まった。その中で、「戦争体験の無い自分たちが、戦争について伝えることは難しい」ことが話題になった。
8月中旬	原案「太陽と月のありがたい物語」完成 群読開始
8月26日	呉原爆被爆者友の会招聘 アイデアストーミングでの「戦争体験」を受け、語り部の方々から直接、被爆体験について学ぶ機会を設定した。「単に『戦争』の無いことが『平和』というわけではない」ということを学んだ。  
9月	脚本「太陽と月のありがたい物語」完成 配役決定・練習開始
10月17日	文化活動発表会で創作劇「太陽と月のありがたい物語」を発表 世界貢献には特別な物でなく、相手を思いやる優しさが大切であることを地域の方々や保護者、1・2年生に発信した。  

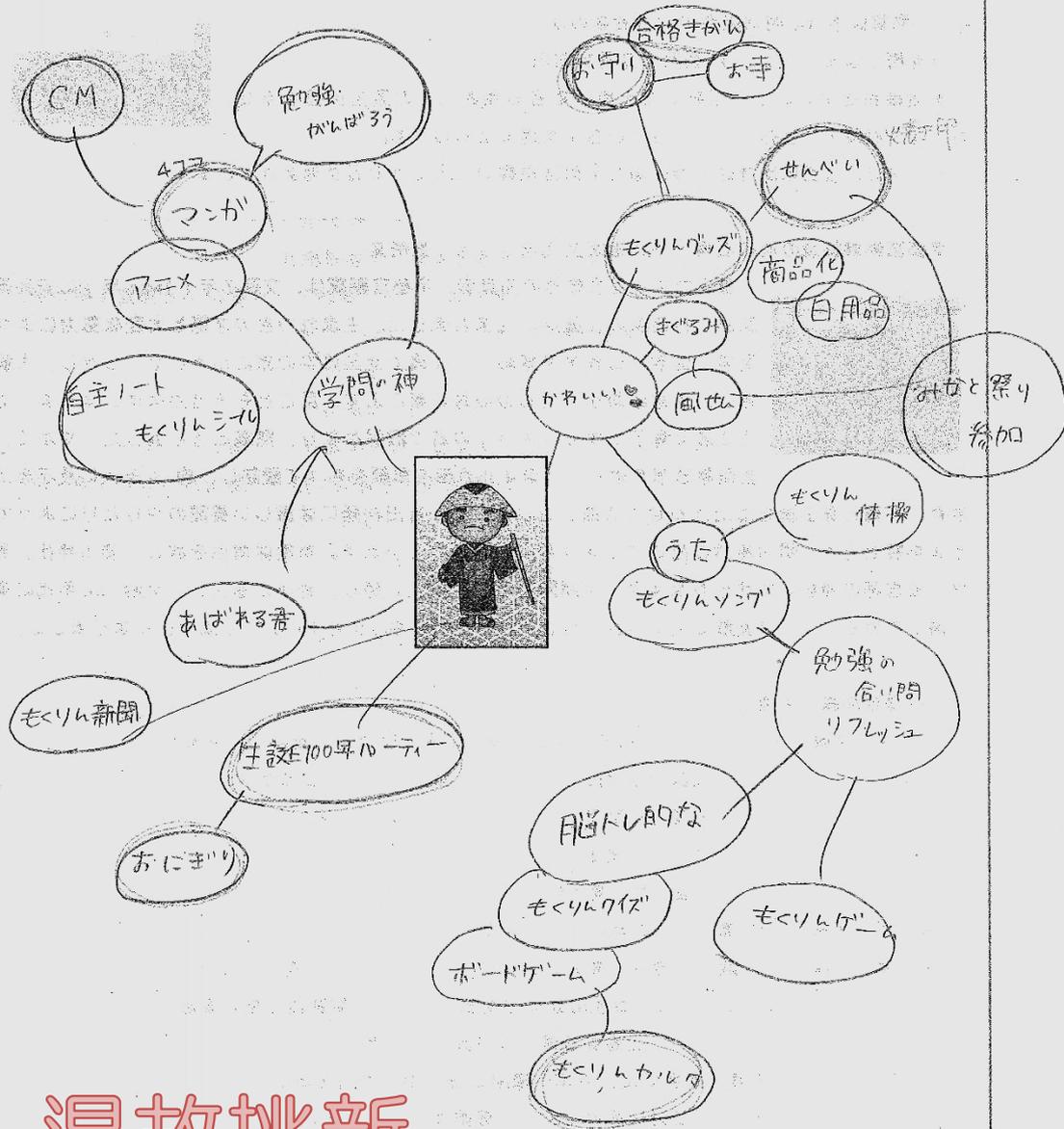
### 3 【単元終了後の生徒の振り返りより】

- 毎年恒例となった創作劇では、最初は上手くいくのかとても不安でした。しかし、エルトゥール号海難事故を発端としたトルコと日本の友好関係の物語をみんなに伝えることができ良かったし、演じていてとても感動しました。その時の緊張した気持ちや感動が今でも昨日のこのように思い出されます。

【研究同人】（平成27～平成28年）

若本 正	福田 眞二	岩城 祥子	浦上 晋次	裏山 富美子
海切 健次	澤井 一郎	荒木 真由子	濱本 暢昭	廣澤 良美
木下 博之	亀樋 裕子	塚本 千都世	荒井 朋美	木村 光子
佐々木 孝之	杉山 佳子	湊 里香		

おもいついたアイデアをどんどんかきだしてみよう



温故挑新

生徒のワークシートより



「すべて創造は忽然と生まれるものではなく、  
必ず過去の文化に胚胎して生まれるものであります」  
(長浜郷土誌 長浜小 新村利一)